

資料 No. 16

第一次マレーシア経済開発計画(1966~1970)と
外国援助要請プロジェクトの概要

昭和 41 年 12 月

海外技術協力事業団総務部

3
A
RY

国際協力事業団

受入 月日 '84. 3. 16	113
登録No. 00704	36
	KA

保存用
持出禁止


調査統計課

は し が き

本概要は、主としてマレーシア政府による " First Malaysia Plan 1966-70 " 及び1966年5月、ロンドンの対マレーシア援助協議グループに提出された " Projects for External Assistance " を要約したものである。

わが国の対マレーシア援助に関し、何らかの参考となれば幸甚である。

総務部長

JICA LIBRARY

1059097[4]

目 次

は し が き

地 図

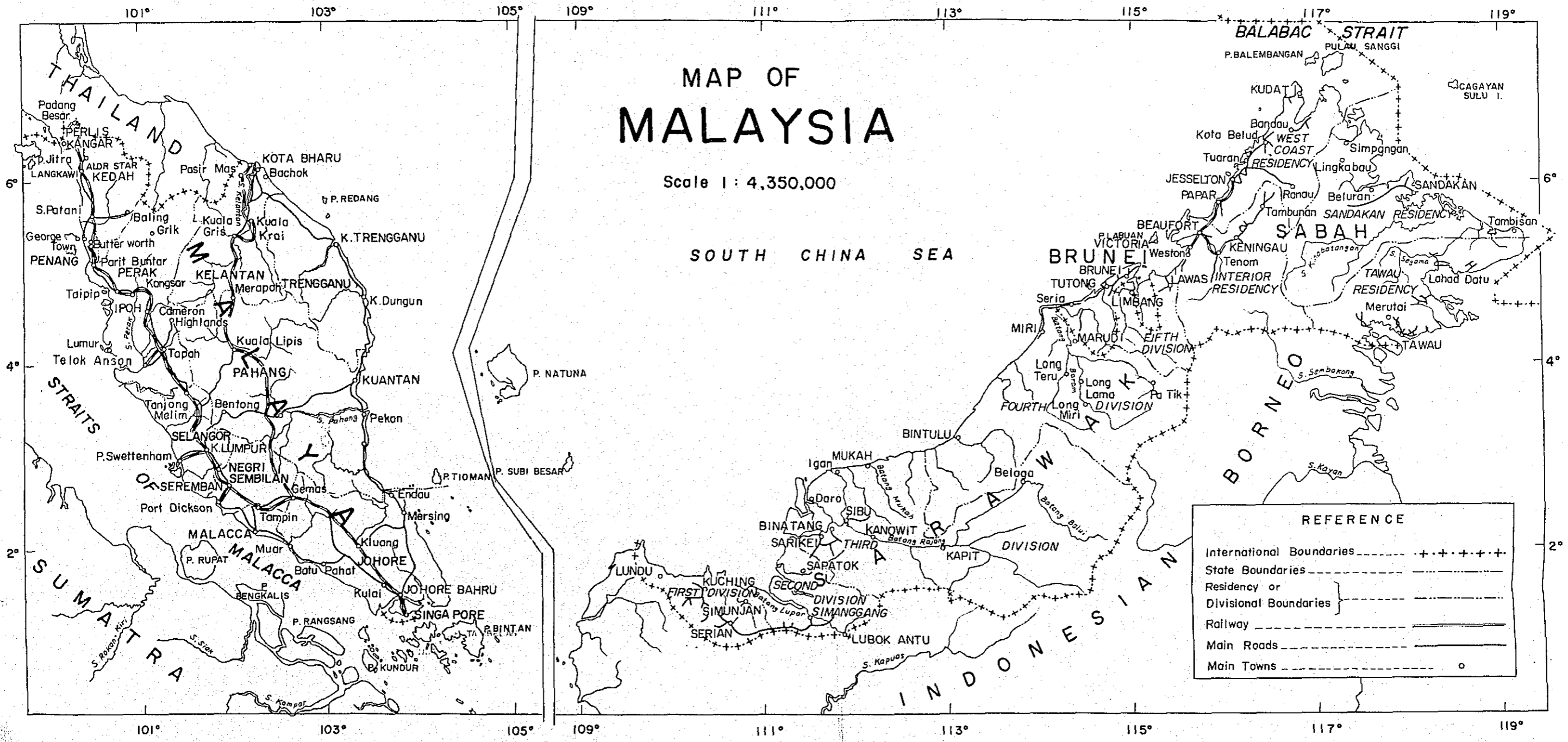
第 I 第一次マレーシア計画 (First Malaysia Plan 1966-1970)	1
第 1 部 総 論	1
第 2 部 各 論	9
1. 農業および農村開発	9
2. 工 業	14
3. 建 設	15
4. 鉱 業	15
5. 運 輸	16
6. 通 信	17
7. 公益事業	18
8. 教育及び訓練	21

9. 保健および家族計画	25
10. 社会・地域事業	28
11. 一般行政	29
第Ⅱ 第一次マレーシア計画に関する外国援助要請プロジェクト	
(Projects for External Assistance)	33
I 農 業	33
II 運 輸	49
III 通 信	56
IV 公益事業	66
V 教育および訓練	72
VI 保健および家族計画	83
VII その他	85

MAP OF MALAYSIA

Scale 1 : 4,350,000

SOUTH CHINA SEA



第 I 第一次マレーシア計画 (First malaysia plan 1966~1970)



第 I 第一次マレーシア計画 (First Malaysia Plan 1966~1970)

First Malaysia Plan (1966~1970) は、マレーシア連邦を形成するマラヤ、サラワク及びサバの各地域を総括した最初の総合開発計画である。それまでは夫々、マラヤでは第一次 5 年計画 ('56~'60)、第二次 5 年計画 ('61~'65)、サラワクでは開発福祉計画、サバでは '60~64 年計画が実施されてきた。

第 1 部 総 論

1. 社会経済開発に伴う問題点

- (1) 主要輸出品目 (特にゴム、錫) への高い依存。
- (2) 高い人口増加率 (年 3%)。
- (3) 所得較差 — 都市と農村、マラヤとボルネオ、階層間。
- (4) 人的資源開発の遅滞。

2. 第一次マレーシア計画の目標

- (1) 全国民の福祉増進のため開発計画を推進し国民及び各州の統合化をすすめる。
- (2) 1 人当り所得及び消費水準を増大する。
- (3) 生産性の向上を図り所得獲得能力をつけ、地方住民及び低所得層の福利を増大する。
- (4) 雇用機会を造出し、新求職者の需要を満たすと同時に失業率を低下させる。

- (5) ゴム、錫への依存緩和のため農工業分野の新規経済活動を奨励する。
- (6) 経済社会開発への効果的参画のため、各野の国民を教育訓練する。
- (7) 家族計画のプログラムを樹て、人口問題の解決を図る。
- (8) 新農民の形成、小作農減少のため、新たに土地を開拓する。
- (9) 将来の需要にそなえて電力、運輸、通信施設を整備する。
- (10) 保健、社開福祉の開発、低家賃住宅その他広範なプロジェクトをすゝめる。

3. 20年後(1985年)の目標

第一次マレーシア計画は、20年にわたる長期的見透しに沿って設定されたもので、1985年における達成目標は次の通りである。

- (1) 一人当り所得の増大 — ^{M\$} 1,500ドル以上とする。目標が達成されれば生活水準をかなりの程度にあげることができる。
- (2) 完全雇用 — 失業者、潜在失業者をなくし、1985年までに2.4百万人の職を造出する。
- (3) 所得の再配分 — 教育と農業技術により生産性の向上をはかり、低所得者層の所得水準の向上をはかる。
- (4) 社会事業 — 教育、保健、住宅等の社会事業を漸次改善していく。
- (5) 経済基盤 — 運輸、通信、公益事業の拡大及び改善をはかる。
- (6) 人口と家族計画 — 人口増加率年2% (現在3%) に漸次減じる。2%となれば1人当り所得目標M\$ 1,500ドル以上が達成される。

4. 部門別投資配分 (単位 M\$百万ドル)

部 門	マラヤ	サバ	サラワク	計 (マレーシア)	%
農業及び農村開発	900.2	55.0	131.4	1,086.6	23.9
農 業	166.5	11.7	89.3	267.5	
畜 産	28.0	2.1	3.7	33.8	
漁 業	17.0	1.3	4.0	22.3	
林 業	10.0	1.1	1.3	12.4	
灌 漑・排 水	319.2	7.0	6.5	332.7	
土 地 開 発	335.0	27.8	13.1	375.9	
融資, 市場開拓	19.5	4.0	13.5	37.0	
臨時労務サービス	5.0	—	—	5.0	
鉱 業	1.3	—	—	1.3	—
鉱 業 局	0.5	—	—	0.5	
地 理 調 査 局	0.8	—	—	0.8	
工 業 開 発	110.3	1.7	2.5	114.5	2.5
マレーシア工業開発金融会社	16.0	—	—	16.0	
工業団地	14.0	—	—	14.0	
国立科学工業調査研究所	5.0	—	—	5.0	
規格研究所	0.1	—	—	0.1	
国立生産性センター	0.2	—	—	0.2	
連邦工業開発局	0.5	—	—	0.5	
M A R A	70.0	—	—	70.0	
ボルネオ開発公社	—	1.7	2.5	4.2	

部 門	マラヤ	サバ	サラワク	計 (マレーシア)	%
運 輸	3 6 5.3	6 8.8	1 1 1.9	5 4 6.0	1 2.0
道 路	2 5 5.5	5 4.2	7 9.8	3 8 9.5	
鉄 道	2 0.0	1.3	—	2 1.3	
民 間 航 空	9.0	6.0	6.5	2 1.5	
港 灣	8 0.8	7.3	2 5.6	1 1 3.7	
通 信	1 5 6.6	2 5.6	2 3.3	2 0 5.5	4.5
電 氣 通 信	1 0 5.0	1 9.0	1 8.5	1 4 2.5	
放 送	4 2.3	6.0	4.8	5 3.1	
郵 便	9.0	0.6	+	9.6	
電 象	0.3	—	—	0.3	
公 益 事 業	6 9 5.0	5 8.0	3 3.3	7 8 6.3	1 7.2
電 氣	5 4 5.0	1 5.0	2 4.3	5 8 4.3	
水 道	1 5 0.0	4 3.0	9.0	2 0 2.0	
教 育 及 び 訓 練	3 6 8.0	2 7.2	4 5.6	4 4 0.8	9.7
保 健 及 び 家 族 計 画	1 5 0.4	1 8.0	2 1.0	1 8 9.4	4.2

部 門	マラヤ	サバ	サラワク	計 (マレーシア)	%
社会, コミュニティ・サービス	279.0	16.5	19.6	315.1	6.9
住 宅	173.2	7.4	7.5	188.1	
主要下水道計画	21.6	—	—	21.6	
消 防	4.6	—	—	4.6	
文化, 青年, スポーツ	11.6	0.4	0.4	12.4	
コミュニティ・サービス	55.5	8.3	11.0	74.8	
福 祉	8.7	0.4	0.7	9.8	
原 住 民 対 策	3.8	—	—	3.8	
一 般 行 政	87.9	26.9	11.6	126.4	2.8
防 衛	502.0	53.5	44.5	600.0	13.1
施 設	150.0	53.5	44.5	248.0	
機 材	352.0	—	—	352.0	
国 内 治 安	97.6	22.4	19.0	139.0	3.0
施 設	55.1	22.4	19.0	96.5	
機 材	42.5	—	—	42.5	
合 計	3,713.6	373.6	463.7	4,550.9	100.0

(注) + 郵便事業への配分は、電気通信に含まれている。

5. 資金計画

(単位M\$百万ドル)

政府剰余資金	200
公共機関剰余資金	425
国内借入金(非銀行借入)	1,025
銀行借入金及び政府蓄積金	1,000
外国借款(純額)	1,000
外国贈与	900
計	<u>4,550</u>

長期経済計画の基本的構想 (1965~85)

	1965	1970	1975	1980	1985
国民総生産 (M\$百万ドル 1965年価格)	8,729	11,105	14,500	19,400	26,600
国民所得 (M\$百万ドル 1965年価格)	8,729	10,705	13,700	18,000	24,700
人口 (1,000人)	9,411	10,910	12,460	14,030	15,650
労働人口 (1,000人)	3,226	3,690	4,230	4,880	5,660
雇用数 (1,000人)	3,066	3,530	4,020	4,690	5,430
一人当り国民所得 (M\$ドル 1965年価格)	928	980	1,100	1,280	1,580

	第一次マレーシア計画 (1965~'70)	第二次 ('70~'75)	第三次 ('75~'80)	第四次 ('80~'85)	長期計画 ('65~'85)
年成長率 (%)					
国民総生産	4.9	5.5	6.0	6.5	5.7
国民所得	4.2	5.0	5.7	6.5	5.3
人口	3.0	2.7	2.4	2.2	2.6
労働人口	2.7	2.8	2.9	3.0	2.9
雇用数	2.8	2.8	2.9	3.0	2.9
一人当り国民所得	1.1	2.3	3.2	4.1	2.7

産業別国内総生産計画 (1965-85)

(単位M\$百万ドル, 1965年価格)

	1965	1970	1975	1980	1985	年成長率(%)
第一次産業	2,970	3,200	3,940	4,890	6,110	3.7
ゴム	1,095	1,200	1,530	1,950	2,490	4.2
その他農, 林, 水産	1,250	1,500	1,910	2,440	3,120	4.7
鉱業	625	500	500	500	500	-
第二次産業(工業)	1,215	1,950	2,870	4,030	5,390	7.7
第三次産業(サービス)	3,645	4,800	6,190	8,480	12,300	6.3
計	7,830	9,950	18,000	17,400	23,800	5.7

各産業の国内総生産に占める割合 (%)

第一次産業	38	32	30	28	26
ゴム	14	12	12	11	10
その他農, 林, 水産	16	15	15	14	13
鉱業	8	5	4	3	2
第二次産業	16	20	22	23	23
第三次産業	46	48	48	49	52
計	100	100	100	100	100

第2部 各 論

1. 農業および農村開発 M\$ 1,086.6百万ドル

(1) 長期標目

- a. 耕作地の増大により、農業部門の生産および雇用の拡大をすゝめる。
- b. 生産性の向上により1人当り農業生産高、所得の増大をはかる。
- c. 全面的開発により、特にゴムが直面するような国際市場の価格騰落に影響を受けないよう、農業部門の基盤を拡大する。
- d. 農業を基盤とする工業の開発を可能にするような産品により工業開発を刺激すべく、農業力を高める。

(2) 農業開発の問題点

- a. 農業経済の拡大と強化をなしとげるには政府、民間とも技術的能力が現在のところ不十分である。従って、農業研究、教育にとって、多くの隘路は避けられない。
- b. 目下、農業部門及び全経済の支柱をなしている天然ゴムの価格の見透しは暗い。国家経済開発への農業の貢献が期待されるべきだとすれば、農業の多角化は避けられないものであり、既に実施されているこの施策は促進されねばならない。
- c. 多くの農民は経営の拡大、生産技術の改良への刺激に欠けている。この問題は限られた知識、小規模の生産単位、技入及び生産物の高い市場価格、妥当な条件の信用貸の欠如及び望ましくない所有関係により生じている。サバ、サラワクにおける特殊問題は大部分の地方民による移動農耕法であり、その結果非能率な土地の利用に終っている。

(3) 農業開発の目標 (1966~'70)

- a. 熟練農民数の増大及び農業地域の技術の改善のため農業教育者、研究員及び普及員の質・量を増大する。
- b. 現在知られている生産力の壁を破り、国の人的能力、土地及び水資源を最も経済的に利用する生産、加工及び市場の型態を改善、開発するために農業、林業、漁業、畜産についての集中的継続的な基礎研究を援助する。
- c. 現在及び将来経済的に耕作される地域に出来るだけ広範囲にわたり改善された生産方法、形態の農業地域による採用及び多角化を奨励する。
- d. 生産の量的拡大のみならず、急速に増加する地方住民に対し雇用機会を提供するため、耕作面積を増大する。
- e. 農業地域が努力に相応する報を得、妥当なコストで生産手段に接しうるように土地所有、信用貸、農産物の加工及び市場分野に現存する制度上の欠陥を改正する。

(4) 計画下のプログラム

- a. 研究・調査 マラヤ (^{M\$} 17.0 百万ドル) サバ (^{M\$} 4.5 百万ドル) サラワク (^{M\$} 1.7 百万ドル)
 フライオリティ
 i 間作、季節外作付、混合農業、加工、販売
 ii 局地的作物
 iii 最大限に生産を拡大するため、現在広汎に耕作されている作物
 iv 従来余り知られていない作物
- b. 教育 マラヤ (^{M\$} 10.0 百万ドル) サバ (^{M\$} 0.8 百万ドル) サラワク (^{M\$} 4.9 百万ドル)
 マラヤ 農業高等学校 12 校設立
 ※ 農業大学 (Serdang) 拡張
 ※ 農業大学 (東部海岸) 設立
 ※ マラヤ大学農学部拡張

サバ 農村訓練センター 6センター設立(既存6センター)

サラワク 農業研究所の設立 5研究所(中学校程度)

合同農業訓練学校設立中。

農夫・婦に対する農業及び家庭経営訓練の実施

サバあるいはサラワクに農業大学の設立。

※印経費は教育及び訓練部門に含む。

c. 普及 マラヤ(M\$ 10.6百万ドル) サバ(M\$ 0.4百万ドル) サラワク(M\$ 1.5百万ドル)

主として、普及員のための宿泊設備、交通、訓練施設等の整備。

d. 作物補助金 マラヤ(M\$ 128.9百万ドル) サバ(M\$ 6.0百万ドル) (M\$ 81.2百万ドル)

従来もゴム、米、ヤシ、果物、油ヤシ、パイナップルの耕作に対し、補助金を出していたが、新たにバナナ、トーマロコシ、ピーナッツ、ココナッツ、かんきつ類、カシューナッツ、コーヒーに補助金を出す。

e. 畜産 マラヤ(M\$ 28.0百万ドル) サバ(M\$ 2.1百万ドル) サラワク(M\$ 3.7百万ドル)

畜産研究所を設立(マラヤ)…牧草及び促成家畜生産の研究

牧草地の開発(マラヤ、サバ)

普及活動 — 畜産センターの増加、公設屠殺場の設置。

酪農場の建設(Selangor州 Batu Arang, Negri Sembilan州 Pantai)

畜産加工工業の試験的实施。

f. 漁業 マラヤ(M\$ 17百万ドル) サバ(M\$ 1.3百万ドル) サラワク(M\$ 4.0百万ドル)

長期計画……調査、研究の拡充、訓練、改良船舶・船具使用援助、加工・販売方法改善、大規模海洋漁業用施設設置、加工・貯蔵方

法等食品技術研究, 魚類生態調査
 水産大学の設立 (サラワク Penang)
 漁業訓練センター設立 (サバ Labuan)
 海洋漁業学校の設立 (サラワク Penang)
 内水漁業訓練センター設立 (Pahang州 Bukit Tinggi)
 巡回指導

船具購入等のため協同組合に対する借款及び補助金。
 g. 林業 マラヤ (100百万ドル) サバ (11百万ドル) サラワク (1.3百万ドル)

林産物利用研究センター設立 (マラヤ)
 殖林調査研究
 林産資源調査 (1968年に完成予定)
 サバ樹種目録完成

国連開発計画 (SF) の援助で、促成針葉樹種殖林の実験が実施されている。

h. 排水, 灌漑 マラヤ (319.2百万ドル) サバ (70百万ドル) サラワク (65百万ドル)

マラヤ Muda河計画 (総経費 204百万ドルの内世銀借款 135百万ドル)。新二毛作地 131万エーカー開発。既存 135万エーカーを二毛作可能とする。

Kemubu計画 (総経費 40百万ドル, 世銀借款申請中) 55万エーカーを二毛作可能とする。

サバ 米作地改良 — 7000エーカー

新規米作地開発 — 10000エーカー

排水 — 3600エーカー (Klias 半島)

サラワク 新規米作地開発 — 7,800 エーカー

米, ココナッツ等耕地改良 — 19,500 エーカー

i. 土地開発 マラヤ (M\$ 335百万ドル) サバ (M\$ 27.8百万ドル) サラワク (M\$ 13.1百万ドル)

新規開発必要面積

マラヤ 40~45万エーカー (65,000家族)

サバ 6万エーカー (12,000家族)

サラワク 8万エーカー (11,750家族)

土地開発実施機関

F. L. D. A (Federal Land Development Authority)

主要計画

Tengka Triangle 計画 (Pahang)

150,000 エーカー, 世銀借款希望

Labuk River Valley (Sandakan) UNSFにより調査中。

Federal Land Consolidation and Rehabilitation Authority を設立。

j. 農業信用 マラヤ (M\$ 19.5百万ドル) サバ (M\$ 4百万ドル) サバ (M\$ 13.5百万ドル)

主な機関

マラヤ Bank Bumiputra

対象 — 個人, 肥料等購入グループ

サバ Credit Corporation

サバ Credit Corporation

対象 機材購入のため小所有者

サラワク Development Finance Corporation

Co-operative Central Bank その他協力機関

対象 作物耕作, 市場, 廉価家屋購入, 畜産, 漁業等

k. 農産物販売

FAMA (Federal Agricultural Marketing Authority)

1. 臨時労務サービス マラヤ (M\$ 5百万ドル)

外国援助で満たない部分の補充

2. 工業

工業構造の現状

	マラヤ	ボルネオ
1) エステート以外の工場による農産物加工工業	21 %	} 少々
2) 消費材及び中間材	68 %	
3) 2) とともに生産財	11 %	
	(100%)	
規模 (1963年現在)	10人以下	82 %
	50人以上	4 %
	5000人以上	7種 (食料, 木材, ゴム, 金属, 農産加工物, 印刷等)

過去5カ年間にPioneer Industries Actにより保証を受けた産業はセメント, コンデンスミルク, 石油精製等110社にのほり, 国内需要を満たすのみならず, 輸出余力をもつに至っている。

工業団地はSelangor州Petaling Jaya, Johore Bahru の Tampoi 等7団地があり、加えてBatu Tiga, Kamunting の2団地を建設中。

工業開発政策

工業部門については民間に依存する部面が多く、政府は調整、援助をする。

(i) 保護関税 214品目

(ii) 税制上優遇措置

(iii) 工業信用 — MIDFL (Malaysian Industrial Development Finance Limited)

(iv) 小規模工業 — MARA (Majlis Amanah Ra'ayat), Bank Bumiputra

(v) 工業地開発

(vi) 工業訓練

(vii) 工業調査 National Institute of Scientific and Industrial Research 及び
Malaysian Standards Institute の設立。

(viii) 推進と調整の指導

Federal Industrial Development Authority の設立。

(FIDA)

計画期間中に成果が期待される工業

砂糖精製、紡績、自動車組立、製粉、化学合成、鉄鋼圧延、製麻、紙、パルプ

3. 建設

年率8%の成長の予定。

4. 鉱業

生産高は、1966～70年、年率4.6%の減少見込。

主要鉱産物は錫で、生産高は減少の傾向にあるが、価格は上昇している。その他良質の鉄、ボーキサイト、金がありこれらも又減少の傾向にある。錫および鉄鉱石開発の調査のほか、銅及び石油の調査のため $M\$$ 0.8万ドル、その他採掘設備のため $M\$$ 0.5百万ドルが予定されている。

5. 運 輸

(1) 道 路 マラヤ ($M\$$ 255.5百万ドル) サバ ($M\$$ 54.2百万ドル) サラワク ($M\$$ 79.8百万ドル)

マラヤ 東北部及び西部中央海岸沿道の延長、FLDAの土地開発と結びついた道路開発、主幹道の改修、地方道の延長、都市道路開発を行なう。

主要プロジェクト—既存Routes 1, II, IIIの改修(バイパスを含む)。北部東西横断高速道の新設。

サバ 西海岸主要都市連結道の改良

サラワク 主幹道の延長。内海水交通との連結。農業開発等に見合う支道延長。

(2) 鉄 道 マラヤ ($M\$$ 20百万ドル) サバ ($M\$$ 1.3百万ドル)

マラヤ Prai-Butterworth 間延長完成。ディーゼル化計画の継続。路盤及びシグナルの改善等。

サバ 新車両の購入その他の改善。

(3) 港湾及び海洋事業 マラヤ ($M\$$ 80.8百万ドル) サバ ($M\$$ 7.8百万ドル) サラワク ($M\$$ 25.6百万ドル)

マラヤ Penang/Butterworth 港拡張計画継続

Swettenham 港の埠頭改築

North Klang 海峡における埠頭建設

サバ Jesselton 及び Sandakan 港湾能力の拡大

サラワク Kuching, Sibul

- (4) 民間航空 マラヤ (M\$ 9.0 百万ドル) サバ (M\$ 6.0 百万ドル) サラワク (M\$ 6.5 百万ドル)
- マラヤ Kuala Lumpur 新国際空港の完成にともない必要装置の設置
民間航空局のテスト機材
Penang, Kuala Trengganu 空港の改善
- ボルネオ Kuching, Sibul, Bintulu, Miri, Jesselton, Sandakan, Lahad Datu, Tawau 間の F 27 航空機サービス拡大が予定されておりそれともなう空港拡張等。

6. 通 信

- (1) 電気通信 マラヤ (M\$ 105.0 百万ドル) サバ (M\$ 19.0 百万ドル) サラワク (M\$ 18.5 百万ドル)
- マラヤ Malaya - Kuching 間通信改善。東海岸主要都市マイクロウェーブ連結完成
Kuala Lumpur - Kuantan 間マイクロウェーブ, (日本が受注)。
その他, ①Kuantan - Kota Bharu, ②K.L. - Singapore, ③G. Plai - G. Serapi のマイクロウェーブ計画があり, ③については日本に対しコロンボプランによる協力を要請してきている。
- サバ Jesselton - 西海岸主要都市マイクロウェーブ連結
- マレーシア 電話交換機自動化
電報, 電話その他商業サービスの拡張, 改善, 訓練施設の拡大, 行政業務の改善。
- (2) 郵便事業 マラヤ (M\$ 9.0 百万ドル) サバ (M\$ 0.6 百万ドル)
- マラヤ 総合郵便局及び本部の設立 (Kuala Lumpur)。支局 44 局の改善, 拡張。郵便車使用の拡大。
- ボルネオ (郵便局は, 電気通信用建物に併置されている)

(3) 情報及び放送 マラヤ(M\$ 42.3百万ドル) サバ(M\$ 6.0百万ドル) サラワク(M\$ 4.8百万ドル)

マラヤ Pantai Valley 放送センターの完成、
無線送信機の追加設置(Johore Bahru, Kajang, Kuantan, Ipoh)
送信及びスタジオ施設の拡大(Kuala Trengganu)。情報車40台。
国立市民センターの設立(Petaling Jaya)
ラジオ放送施設の改善及び拡張(主としてKuching, Jesselton)

(情報及び放送事業は国家意識高揚、統合の推進をも意図している。)

(4) 気象事業 マラヤ(M\$ 0.3百万ドル)

人工衛星気象データ受信施設。短期天気予報及び熱帯気象調査の改善

7. 公益事業

(1) 電力

投資配分

(単位 M\$ 百万ドル)

	マラヤ	サバ	サラワク	計(マレーシア)
発電	376.0			
送電	16.0	13.5	23.1	566.6
配電	121.0			
管理等	17.0	—	—	—
農村電化	15.0	1.5	1.2	17.7
	<u>545.0</u>	<u>15.0</u>	<u>24.3</u>	<u>584.3</u>

マラヤ (a) 発電プロジェクト	M.W.	M\$ 百万ドル (メガワット)
Batang Padang 水力発電計画	153	121
Prai 火力発電所	60	45
Port Dickson 火力発電所	120	108
Bentong 水力発電計画	14	20
Raub 水力発電計画	20	20
Johore Bahru 第一火力発電所	30	14
Johore Bahru 第二火力発電所	30	14
Upper Perak River 水力発電所		25
その他発電計画		9
	計	375

(b) 送配電

Alor Star からKluang まで中央網に結合する長期計画に着手する。

(c) 農村電化

農村電化は人々の生活の便宜のみならず，農村工業を促進させる。

主なる実施機関

NEB (National Electricity Board)

Perak River Hydro-electric Company

City Council, George Town, Penang

サバ

ディーゼル発電の増大（'65年18.7MW → '70年44.8MW,）及び水力あるいは火力発電の開発を目指す。

実施機関 SEB (Sabah Electricity Board)

サラワク

ディーゼル発電の増大

実施機関 SESCO (Sarawak Electricity Supply Corporation)

※ Batang Padang 水力発電計画及びPrai 火力発電所及び関連送電線のため世銀借款 ^{M\$} 156百万ドルが確定している。その他外国援助を希望。

(2) 給水

投資配分

	(単位 M\$百万ドル)			
	マラヤ	サバ	サラワク	計(マレーシア)
都市給水	101.0	41.3	5.4	147.7
農村給水	49.0	1.7	3.6	54.3
	<u>150.0</u>	<u>43.0</u>	<u>9.0</u>	<u>202.0</u>

マラヤ	(a) 主なる給水プロジェクト	1日当Mガロン	M\$ 百万ドル
	Penang 給水計画	25	50
	Sungei Muar (Malacca) 計画	12	18
	Kuala Lumpur 及び		
	Petaling Jaya 給水計画	60	50

その他Kota Bahru, Alor Star の給水計画

(b) 農村給水

'60～'65年に農村給水計画は111から159に増大したが今後も一層拡大していく。

(c) 水道料金

所得水準向上により政府の補助の割合を減少させるため、将来水道料金の値上げを考慮している。

サバ Sandakan 給水計画 M\$ 40百万ドル

サラワク Kuching, Miri, Lawas, Semanggang, Sareki 給水拡大
特に土地開発計画と関連して農村給水施設の新設。

※ Penang, Kuala Lumpur, Sungei Muar, Sandakan 等の給水計画に対する外国援助を必要としている。

8. 教育及び訓練

(1) 経 過

Education Review Committee の諮問により、1961年小学校授業料廃止(但しボルネオ2州では1966年から)

1965年総合教育制度(Comprehensive system of education)を採用し、中等教育を多様化。

高等教育計画委員会は今後20年間の人的資源必要の推計及び教育機関設立立案。

EPU(Economic Planning Unit)にManpower Planning Section 設立。

(2) 第一次計画のプログラム

(a) 社会、文化、政治統合推進のため国家教育制度の統一。

(b) 学令人口増大に見合うように、特に中等レベルの教育機関の提供。

(c) 教育の質の改善及び都市農村間較差是正のため全国を通じて教育機関の拡大。

(d) 主要分野 — 特に農業、工業、科学、技術に関する分野の施設の増大により教育・訓練機関の多様化。

(e) 資格があり経験のある教師を養成するため教員養成促進。

(3) 投資配分

(M\$ 百万ドル)

	マラヤ	サバ	サラワク	計 (マレーシア)
初 等	54.6	7.8	12.3	74.7
中 等	188.7	14.2	29.2	232.1
技 術	30.8	2.9	2.8	36.5
大 学	30.0	—	—	30.0
教員養成	28.5	2.3	1.1	31.9
その他教育・訓練	35.4	—	0.2	35.6
	<u>368.0</u>	<u>27.2</u>	<u>45.6</u>	<u>440.8</u>

(4) 計画内容

- 初等教育 全学令児童の受入体制を整備する。資格のある教師の供給の一層の増大。魅力ある教育施設。特にサバ、サラワク、及び農村における脱落者の除去。
- 中等教育 全小学校卒業者に下級中等学校（3年）を用意し各種職業、技術訓練を重点とした一般教育を行なう。下級中等教育終了者の45%に2年間の総合教育を実施。上級中等教育は文部省の研究の結果変更予定。更に同位の職業学校を多数設立。サバ、サラワクでは中等教育に進む人材が不足している現状にある。
- 高等教育 Serdang 農業大学の拡張。第二の農業大学の設立。Kuala Lumpur の技術大学の拡張。ポリテクニックの設立。マラヤ大学、医学部その他学部の拡張。

その他高等教育計画委員会の研究により Penang に大学設立が提案されるかも知れない。

教員養成教育 Johore Bahru のマレーシア教員養成大学
 Kuala Lumpur の技術教員養成大学 } 完 成

Kent 大学(サバ) Gaya 大学(サバ)の拡張。小学校教員養成大学の設立(サラワク, ニュージーランドの援助)

その他, 大学3校の設立, 地方教育センターの施設拡充。

その他教育・訓練

MARA内のDewan Latehan の拡張。国立生産性センター(UNSF援助)の拡張。

国家徒弟訓練計画(National Apprenticeship Programme)の推進。

工業訓練所(Industrial Training Institute)の施設拡充。

マラヤにおける教育レベル別終了動向

(単位 人)

	1960	1965	1967	1968	1970
大 学	47	657	740	1,050	1,700
技術・農業大学	99	203	230	250	330
第6フォーム(及びモスレム大学)	692	1,756	4,900	6,150	5,870
教員養成大学	2,130	2,531	6,200	6,310	7,160
上級中等学校	9,724	14,494	23,870	23,920	54,370
アカデミック	9,338	13,728	23,200	22,960	41,580
技 術	107	306	480	560	4,180
職 業	279	460	190	400	8,590
下級中等学校	4,782	23,752	38,200	73,400	99,100
小 学 校	140,947	453,09	30,800	26,100	20,900
	<u>158,421</u>	<u>88,702</u>	<u>104,950</u>	<u>137,180</u>	<u>189,410</u>

マレーシア部門別雇用目標		(単位 千人)			
	1965 (推定数)	1970 (目標)	増 数	加 %	増加年率%
○ マレーシア全体					
労働力	3,226	3,687	461	14.3	2.7
失業	160	160	—	—	—
雇用	3,066	3,527	461	15.0	2.8
○ マラヤ					
労働力	2,678	3,055	377	14.1	2.7
失業	160	160	—	—	—
労働力に対する失業率	(6.0%)	(5.2%)			
雇用	2,518	2,895	377	15.0	2.8
農業	1,388	1,553	165	11.9	2.3
製造業	173	209	36	20.8	3.8
鉱業	61	61	—	—	—
建設, 公益, 運輸	210	252	42	20.0	3.7
行政及び防衛	257	312	55	21.4	4.0
貿易及びサービス	429	508	79	18.4	3.4

○ サバ, サラワク

労働力	548	632	84	15.3	2.9
失業		僅少	—	—	—
雇用	548	632	84	15.3	2.9
農業	441	508	67	15.2	2.9
農業以外	107	124	17	15.9	3.0

9. 保健および家族計画

(1) 計画の目標

- (a) 医療・保健施設の, 特に地方において, 拡大改善。
- (b) これらの業務に従事する人々に訓練施設の提供。
- (c) 伝染病の組織的コントロール, 環境衛生及び栄養水準の改善, より多くのよりよい専門的専業の設備により人々の一般的健康の向上。
- (d) 家族計画のプログラムの樹立。

(2) 投資配分

(単位 M\$百万ドル)

	マラヤ	サバ	サラワク	計 (マレーシア)
予防事業	26.7	6.3	2.4	35.4
伝染病コントロール	4.0	0.2	0.8	5.0
結核	3.0	0.2	0.2	3.4
瘧病	1.0	—	—	1.0
マラリヤ撲滅	—	—	0.6	0.6

	マラヤ	サバ	サラワク	計 (マレーシア)
保健衛生の改善	22.7	6.1	1.6	30.4
地方保健事業	20.0	6.1	0.9	27.0
歯科保健事業	1.3	—	0.7	2.0
都市保健事業	1.0	—	—	1.0
地方診療所	0.4	—	—	0.4
II 治療事業	111.0	10.8	18.0	139.8
病院新設	98.0	2.8	17.6	118.4
拡大, 設備	12.0	5.6	0.3	17.9
その他病院, 施設	1.0	2.4	0.1	3.5
III その他プロジェクト, プログラム	10.7	0.9	0.6	12.2
訓練プログラム	3.0	—	0.3	3.3
訓練施設宿舍	5.0	0.4	—	5.4
その他	2.7	0.5	0.3	3.5
IV 家族計画	2.0	—	—	2.0
合計	150.4	18.0	21.0	189.4

(3) 計画内容

伝染病コントロール

マラヤでは、1961年に、TBコントロール全国キャンペーンを開始継続。サラワクでは1960年からTBコントロールを開始。サバでも全州統一TBコントロール事業を計画。なおサラワク、サバはオーストラリアの coronabonplan 援助をうけている。

瘧対策としては Sungei Buloh の瘧病院を改善して国立瘧センターとするほか病院を設立する。

マラリア対策はサラワクにおいて、WHO、UNICEF の援助をうけて実施されている。

保健衛生の改善

地方保健事業としてマラヤでは、環境衛生・保健教育、母子保健に重点をおき、センター、助産所を設立。

サラワクでは保健教育により環境衛生の改善。サバでは保健ユニットの設立。

学校児童に対する歯科保健事業。

都市保健事業としては、母子保健施設、6センターの設立。

治療事業

病院新設 マラヤ Kuala Lumpur, Seremban Petaling Jaya (教授病院)
Tanjong Karang, Changkat Mintang (Perak), Dungun

サラワク 6診療センター
総合病院 (Kuching)

サバ Tawau

その他小病院を Beaufort Pagar, Bandan-Kudat, Semporna

その他施設の拡充、改善、精神病院の設立。

家族計画

現在年3%の増加率を漸次減じる。全国家族計画評議会 (National Family Planning Board)

を設置し、フォード財団の援助を得て実施。

10. 社会、地域開発事業

住 宅

低所得層のための低家賃住宅の建設。住宅は州政府の事業であるが、連邦政府は融資を行なう。

下水道計画

M\$ 百万ドル

拡張, 改善	Ipoh	12
	Kuala Lumpur	22
	及びPantai 浄化施設	89
	Georgetown	25
	Malacca	10

その他主要都市

消 防

消防署の新設。消防夫の宿泊設備の新設。中央消防訓練学校の設立。

文化, 青年, スポーツ

12多目的センターの設立。

全国青年開拓団(National Youth Pioneer Corps)の結成を立案…失業青年を組織、訓練して生産的業務に当たらせる。

マラヤ 地方の排水改善, 市場設備, 小規模給水計画, ダム, 休息小屋, 防波堤, 地域センター, 遊戯場。

サバ Sandakan, Jesselton, Tawau その他の下水道設備。

サラワク 道路交通拡張にともない開発された地域における商店街建設。

福 祉 事 業

更生施設, 老人ホーム, 児童ホーム, 身体障害者ホーム, 婦女子保護施設, 感化院。

原住民対策

生活水準向上のため農業開発を行なう。

11. 一般行政

(1) 投資配分

(単位 M\$百万ドル)

	マラヤ	サバ	サラワク	計 (マレーシア)
政府建築物	33.6	12.5	6.1	52.2
司法	4.4	1.3	—	5.7
関税・国内消費税	5.2	—	—	5.2
化学	0.7	—	—	0.7
印刷	1.2	—	0.4	1.6
刑務所	16.6	1.5	2.6	20.7
外務省	12.5	—	—	12.5
労資関係	0.4	—	—	0.4
調査	2.4	7.6	2.5	12.5
コンサルタント事業	—	4.0	—	4.0
総理府	2.0	—	—	2.0
統計	6.0	—	—	6.0
娯楽	0.9	—	—	0.9
観光事業	2.0	—	—	2.0
合計	87.9	26.9	11.6	126.4

(2) 計画内容

司法 裁判所の移転, 建設

関税及び国内消費税

Malacca の関税訓練大学のスタッフ増, 拡張。密輸対策強化のためランチ, 施設の購入。

化学

既存の Petaling Jaya 及び Penang の研究室支部に加えて, Kuala Trengganu 及び Kluang に同種支部を設置。

印刷

Johore Bahru に印刷所を新設。

Alor Star 及び Kuala Trengganu の機械, 設備の交換。

Sarawak 印刷局の建物改善, 追加設備設置。

刑務所

スタッフ宿舎追加設置, 刑務所改築。

Kajang に刑務所及びスタッフ宿舎の新設。

サバ, サラワクに刑務所及びスタッフ宿舎の新設。

外務所

法院及び官邸の拡張。

在外公館, 特にアジア, アフリカに新設。

労資関係

労働事務所の修繕, 建替。

Petaling Jaya 及び Ipoh に労働事務所新設。職業訓練の拡張。

調査

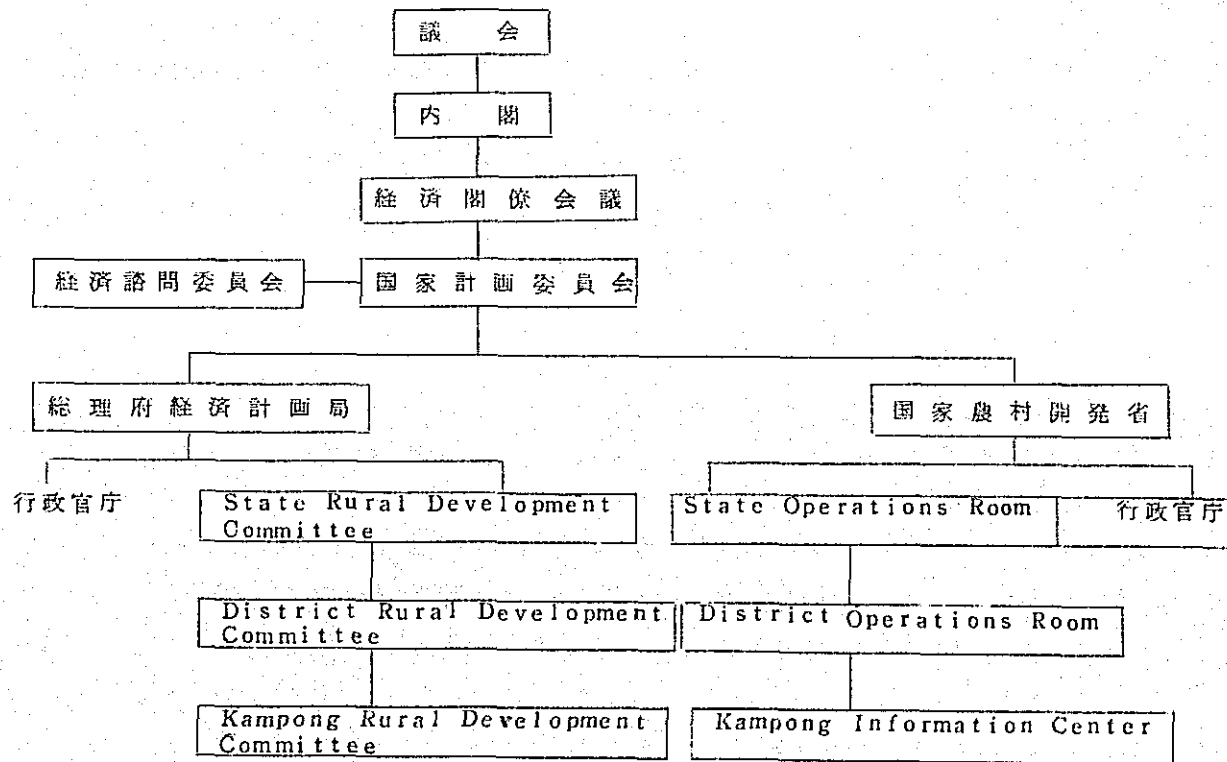
労働者施設建設

マラヤ

Kuala Lumpur, Kemaman, Kuantan, Kedah に調査事務所建設計画の完成。

		プリント，製図追加設備購入。
サラワク	地勢図完成	
サバ	地勢調査。地図作成。調査用設備改善。土地開発等に從事する調査団のための組立住宅。	
コンサルタント事業	サバにおける人材資源不足に伴なりコンサルタント事業。	
総 理 府	マラヤの地力分類 — 地下資源埋蔵の可能性，土壤適正，森林生産性，水資源 航空写真調査 — コロンボプランカナダ援助による。	
統 計	行政，政策，計画のための調査内容の拡大，改善。 電子計算器の設置。 親分野のサンプル調査の実施。 1970年・10年毎人口調査，農業調査を実施。	
娯 楽	国立公園Taman Negara (Pahang)の交通，施設の改善。 労働者施設の改築 Kelantan, Negri Sembilan 事務所新設。	
観 光 事 業	Kuala Lumpur 及びPort Swettenham の観光情報センターの改善。 Kuala Lumpur 地域にレクリエーション施設の増設。	

(3) 計画の立案と執行機関



第Ⅱ 第一次マレーシア計画に関し外国援助要請プロジェクト

第Ⅱ 第一次マレーシア計画に関し外国援助要請プロジェクト

計画実施に関し、隘路となるものは資金と人材である。

総経費M\$ 4,550百万ドルの内、外国借款M\$ 1,000百万ドル、外国贈与M\$ 900百万ドルを求めている。又人材面では、農業その他技術分野の教育計画に対する外国技術援助を最も必要としている。

プロジェクト名	見積経費	概 要	援 助 要 請	備 考
I 農 業 1. 農業教育, マレーシア (Agricultural Education, Malaysia)	M\$ 31.2百万ドル	農業高等学校 (agricultural vocational school) 既存3校の拡充… Serdang (Selangor), Bumbong Lima (Penang) Lundang (Kelantan) 4校新設…………… Kuala Brang, (Tren- gganu), Ayar Hitam (Johore)	教育経験のある総合 大学及び単科大学卒 の教師。 新設資金。	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
		<p>Gajah Mati (Kedah) Kampong Awah or Chemor (Pahang)</p> <p>1校当りスタッフ規模………</p> <p>5 graduate teachers, 5 diplomates, 10 field and labor- atory assistants</p> <p>(現在3校で3 graduate teachers, 5 diplomates, 6 agricultural assistants.)</p> <p>計画期間内可能数 25 gra. 25 dip. 必要数の assistants。不足は海外から、 特に U. S. 平和部隊からの補充を希望。)</p> <p><u>農業大学</u> (Agriculture College) 既存大学の拡張… Serdang (Selangor.) 新設…………… Trengganu (東海岸) <u>マラヤ大学農学部</u> (1960年 設立 New</p>	<p>Serdang 農業大 学スタッフ5~7名 拡張資金</p>	<p>スタッフについては Ford 財団へ要請 中。</p>

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
		<p>Zealand政府援助による。) 収容能力, 教授陣の拡大, 専門化, 大学農場の拡大。</p> <p>World Bank, FAO, Ford 財団等の専門家チームによる調査がなされた。なおSerdang の農業大学拡張についてはFord 財団により調査された。</p>	<p>教授及び研究のためのチーム</p> <p>Trengganu農業大学設立計画を含め農業教育計画実施についてのトップ・レベル政府顧問。</p>	<p>UNSFへ要請予定(含機材)</p> <p>UNEPTAの後援でUNESCOに要請中。</p>
<p>2. 農業研究調査, マレーシア (Agriculture Research, Malaysia)</p>	<p>M\$ 17.1百万ドル (内Sabah M\$ 4.5百万ドル Sarawak M\$ 1.7百万ドル)</p>	<p>主要商品作物である米, 油やし, ココナットについては従来研究されて来たが, その他の作物については育種, 栽培, 肥料, 病虫害, 加工販売等の応用研究パイロット演示を行なう。</p> <p>研究調査活動の効果的推進のため国家開発計画委員会(National Development Planning Committee)に諮問機関を設ける。</p> <p>なお, ゴムについては準政府機関のゴム研究所(Rubber Research Institute)が実施している。</p>	<p>フィールド作物, 蔬菜, 果物, 肥料, 植物保護の各分野に1名宛専門家。</p> <p>計画全般の実施についての援助</p>	<p>FAO へ要請中。</p> <p>UNSF へ要請予定。</p>

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
		<p>輸出可能作物……ゴム、油やし、バナナ、サゴ、 タピオカ、カシューナッツ、バ イナップル、シトラス果実、ア バカ</p> <p>輸入作物……米、メイズ、レグメ(豆)、ソ ルガム、さとうきび、茶、コー ヒー、果実、野菜</p>		
<p>3. 農業普及, マラヤ (Agricultur- al Extension, Malaya)</p>	<p>M\$ 9,806千ドル</p>	<p>普及の目的は、次の様な知識を農村に広く伝播する ことである。</p> <p>(I)新しい生産投資(作物の種類、品種、動物品種、 飼料、肥料、病虫害、農具)</p> <p>(II)栽培方法(時期、技術、灌排水、病虫害対策、肥 料、除草、輪作、地力)</p> <p>(III)管理</p> <p>Rural Training Center の新設13 (既設19)</p> <p>種子、肥料の補助、トラクター等農機具貸与等の 事業を実施</p>	<p>四輪ディーゼル車 60台</p> <p>mobile units 10台</p>	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
		<p>Farmer's Association へのトラクターの貸与に関してその維持のために政府要員を養成する目的で、USAのCare medicoの援助によりFarm mechanics Training Center が設置されている。なお Farmer's Association は台湾、フィリピンからの指導者派遣等を得て、ポンプ、病虫害対策機具、収穫機、脱穀機を使用して、二毛作、季節外作物耕作をすすめており、マラヤ水田地帯の20%をカバーしている。</p> <p>軽自動車(Land Rover)を70台にする。(現在10台)</p> <p>自動車(mobile unit)を26台にする。(現在16台)</p> <p>指導フィルムによる普及。</p>	<p>病虫害対策機具</p> <p>ポンプ及び附属品</p> <p>乾燥及び貯蔵施設</p> <p>トラクター260台及び附属品、スペアパーツ</p> <p>12Farm Mechanics Training Sub-Centers の機材、施設。</p> <p>13Rural Training Centers の建設及び機材。</p>	
4. 農業普及、サラワク (Agriculture)	M\$ 2.46百万ドル	<p>軽自動車(Land Rover)あるいはボートの追加設置(視聴覚機材付)</p> <p>4 農業研究所(Farm Institute)新設…Ka-</p>	<p>4 農業研究所設立資金、及び軽自動車、モーターサイクル、</p>	

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
Extension, Sarawak)		pit, Mukah, Tarat, Lawas 2 Farmers Training Centersの機材購入。(Luak, Senga)	トラクター等普及事業用機材の購入資金。	
5. 畜産研究所設立, マレーシア (The establishment of an Animal Production Institute, Malaysia)	M\$ 2.06百万ドル	畜産研究所の設立(Kluang)及び畜産局畜産課の再編成と拡大。 反芻動物, 豚, 鶏の開発を促すため牧場, 飼料等の研究を行なう。研究結果は局の地方出張所を通じて一般農民に普及する。 研究所は専門調査研究員26名, 畜産助手21名, 研究所助手15名からなる。	畜産の直面する問題の調査。特殊調査計画の公式化。 教育計画の公式化。 研究所への専門家。 種畜の供給。 研究用機材。 総合的図書館事業。	
6. 家畜衛生地方研究所の設立, マレーシア (Establishment of regional laboratories for	M\$ 0.76百万ドル	Selangor 及び Penang に設立。研究所の業務は①病気の診断, ②特殊地方病問題の研究③病気の調査④実験技術者の養成(Selangor)であり各研究室は専門官4名, 実験技師8名により構成される。なお, Selangorでは養鶏, Penangでは養豚が重点的に行われている。 既存研究所としてはPerakのIpohに1ヶ所あ	2研究所設立資金。 各研究所宛派遣2名 実験技師1名の専門家。	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
the animal health service, Malaysia)		るのみ。上記2ヶ所の他に Kelantan, Johore Malacca, Sabah, Sarawak に必要とされている。		
7. 近代地方畜殺場の設立, マラヤ (The Establishment of a Modern Regional Slaughter house, Malaya)	M\$ 3.664 百万ドル	各地に散在する小規模畜殺場を統合し、品質管理、副産物を最大限に利用することを長期目標としている。 畜殺場の設立 (Selangor 州 Kajang, パイロットプロジェクト, 農林省及び協同組合管轄下におく。) 既存畜殺場 16 に代わって公設屠殺場を設置し, Kuala Lumpur, Petaling Jaya, Batu Tiga, Klang, Kajang, Jinjang, Kepong を所管する。	プロジェクト実施に必要な詳細な経済技術的な研究を行なうためのコンサルタント。 公設屠殺場の設立及び機材。	
8. 漁業調査及び練習船 (Fisheries Research and	M\$ 1.22 百万ドル (内殆んど外貨)	調査練習船 (沖合漁業) 調査, 実験施設及び訓練施設設置, 100フィート長, 120~150トン。12ノット。10~15日巡航。	プロジェクト資金。	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
Training Vessel)				
9. 造船及びギア技術 (Boat and Gear Technology)	M\$ 0.15百万ドル (除実施調査, 技術援助)	造船及びギア研究所設立 (1) 地方の要請に合致し効率的, 実際の, 適当な高水準の機械漁業技能。 (2) 沖合漁業に適する漁業技能。 (3) 沿岸及び沖合漁業に適するギア。 を開発する。	まず, プロジェクトの実施調査。 次いで資金及び技術。	
10. 漁場保護船, マラヤ (Fisheries Protection Vessels, Malaya)	M\$ 1.6百万ドル (殆んど外貨)	漁場保護事業を設立する。 PX型船 1隻 PC型船 3隻 快速船 9隻	プロジェクト資金	
11. 漁港開発, クアラケダ及びブルム, マラヤ (Fishing	M\$ 1.98百万ドル (Kuala Kedah 分のみ) (内外貨60%)	Kuala Kedah及びLumut 港の改修。 新埠頭の設置, 荷上施設, 競売・梱包・加工・船積施設, 冷蔵, その他漁船に必要な施設等を設置。 設置後諸施設はFAMAが管理。	Kuala Kedah 港改修資金。 Lumut 港実施調査 技術援助及び改修資	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
Port Development, Kuala Kedah and Lumut, Malaya)		Kuala Kedah 港はカナダ政府の援助により実施調査が行われ1966年7月完了。 Lumut 港についても近く実施調査を行なう。	金。	
1 2. ペナン漁港, マラヤ (Penang Fishing Harbour Malaya)	M \$ 35 百万ドル	ペナン港の拡大 埠頭及び附属施設, 製水工場, 冷蔵, 船舶修理施設, 販売場施設, 港務管理事務所, 駐車場。	経済・技術的観点からのプロジェクトの検討のための専門家。 施設のレイアウトの計画。 初期の組織及び管理。	
1 3. 林産物利用研究センターの設立, マレーシア (The Establishment of a Forest Products Utilization Research	M \$ 0.3 百万ドル	合成材, 木材副産物, パルプの研究及びマーケット, 輸出需要等経済的見地からの調査を行なう。 既存の研究所としては Selangor 州 Kepong に一カ所。	センター設立運営に必要な企画のための技術協力。特に調査及びそのプライオリティーを必要とする対象の地図作成。	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
Center, Malaysia)				
14. 排水及び灌漑, マ ラヤ (Drainage and Irriga- tion, Malaya)	<p>M\$ 5百万ドル (維持費年額 0.045)</p> <p>M\$ 8百万ドル (0.525)</p> <p>M\$ 4百万ドル</p>	<p>外国援助を期待する6プロジェクト</p> <p>(1) Assam Bubok 灌漑計画 (Johore) 貯水ダム建設 (能力 11,000 acre-feet) 3,000 acres をカバーし、内、現在 1,000 acres のジャングル沼沢地を開発し、全地域に わたって二期作を可能にする。</p> <p>(2) Krian 拡張, 第二段階 (Perak) Krian 灌漑計画は 1892 年から開始されて いるが、本格的には第一段階として 1961 年に 開始し、30,000 acres の可耕地を 58,000 acres に増大し、30,000 acres が二期作可 能となった。 第二段階として、35,000 acres をカバーする既 存灌漑施設の改修、10,000 acres に及ぶ地域の 洪水防止施設の再建を行おう。</p> <p>(3) Prai 河, 排水及び埋立 (Penang)</p>		

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
	(0.05)	Permatang Pauh 地点に水門をつくり、 両岸 3,700 acres を埋立てる。		
M\$ 7.2 百万ドル	(0.18)	(4) Trengganu 下流灌漑計画 (Trengganu) Trengganu 河ポンプ場に隣接した沿岸平野 9,000 acres		
M\$ 1.6 百万ドル		(5) Besut 灌漑計画, 第二段階 (Trengganu) Besut 河沿岸の Angga Angga から Kuala Besut へのびる 20,000 acres。 その内第一段階で 6,000 acres に給水, 内 2,000 acres が二期作可能となった。第二段階 では全地域の二期作を可能とする。		
M\$ 2.5 百万ドル	(0.15)	(6) Tumpat-Pangkalan Kubor 堤防計画 (Kelantan) 洪水防止堤防建設, 排水管理, 運河, Sungai Lemal 灌漑所の施設拡張。 3,000 acres の沼沢地埋立, 5,000 acres を二期作可能, 10,000 acres 洪水防禦。 (1)~(6)は予備調査を行なったのみであるので実施に	実施調査 設計 プロジェクト資金。	

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
		<p>先立って詳細な経済、技術的実施調査及び設計が必要である。</p> <p>現在計画中の二大プロジェクトは、Muda及びKemubu 灌排水計画で、前者は131,000acresを後者は50,000acresを二期作可能とする。</p> <p>Muda 計画については世銀からの融資が決定、Kemubu 計画については世銀に申請中である。</p>		
<p>15. 排水及び灌漑, サバ (Drainage and Irrigation, Sabah)</p>	<p>M\$4百万ドル</p>	<p>現在産稲が多いが灌排水により水稲の普及を促す。</p> <p>現水稲面積は70,000acresで内25,000acresが灌漑されている。</p> <p>計画では7,000acresを改善し10,000acresを新たに稲作可能とする。</p> <p>17の小規模灌漑プロジェクトを実施する。7プロジェクトは建設中。完成後は1,750家族の入植可能。</p>	<p>実施調査。 設計 プロジェクト資金</p>	
<p>16. 排水及び灌漑, サラワク (Drainage and Irrigation, Sarawak)</p>	<p>M\$1百万ドル</p>	<p>現在丘陵稲作を行っており、住民が散在しているために、政府の社会事業、技術指導が遅れない状態にある。</p> <p>(1) 下Sibuti 灌排水計画</p>	<p>実施調査。 設計 プロジェクト資金。 州全体にわたっての</p>	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
tion, Sarawak)	<p data-bbox="508 467 687 491">M\$ 5.5百万ドル</p> <p data-bbox="508 758 687 782">M\$ 1.5百万ドル</p> <p data-bbox="508 950 687 974">M\$ 0.7百万ドル</p>	<p data-bbox="749 278 1246 450">8,000 acres の6 沼沢地をカバーする。 4,000 acres はココナツ栽培のために地下水 面対策塩水排除, 4,000 acres は水稲のための 灌漑。</p> <p data-bbox="749 470 1246 642">(2) Nonok 半島灌排水計画。 可耕地 82,000 acres の内 20,000 acres が現在耕作されており, ココナツ, コーヒー, 米等が栽培されている。 地下水面対策, 海水排除, 供水緩和のため, 堤 防 3 7.5 マイル, 水路, アースダム等の建設。</p> <p data-bbox="749 758 1246 930">(3) Kabong/Nyalor 灌排水計画, 第二段階。 第一段階としては, 11,500 acres をココナ ツ栽培のために排水。 第二段階 10,000 acres 拡大。</p> <p data-bbox="749 950 1246 1122">(4) 中部 Sadong 排水計画, 第二及び第三段階。 第一段階 1,600 acres (内 1,300 acres は ココナツ栽培) 第二及び第三段階 2,600 acres 拡大。</p>	<p data-bbox="1271 278 1472 353">(灌排水施設の全般的 調査。</p>	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
		(1)~(4)について予備的調査が行われたのみである。		
17. 土地開発, マラヤ (Land Development, Malaysia)	<p>M\$ 8.657千ドル</p> <p>M\$ 3.5百万ドル</p> <p>M\$ 10.5百万ドル</p> <p>M\$ 3.5百万ドル</p>	<p>1970年末までに少なくとも65,000家族の入植が必要であると予測され, 400,000~450,000 acresの開発が必要であろう。開発にはFLDAがあたる。</p> <p>(1) Bukit Goh (Pahang) オイルパーム土地開発計画 6,200 acresを開発し, 内5,000 acresをオイルパームに1,200 acresを村落とする。 1家族8 acres とし625家族が入植。 オイルパーム加工工場設置</p> <p>(2) 土地開発にともなう工場設置</p> <p>イ. Sungei Dusun (Selangor) 6,200 acres</p> <p>ロ. Kulai (Johore) 30,000 acres</p> <p>ハ. Ulu Jempol (Pahang)</p>	<p>プロジェクト資金。</p> <p>イ~ニの工場施設のための長期借款。</p>	<p>イは入札中。</p> <p>ロ, ハの第一段階建設はオランダStork & Co. Ltd. が実施する。</p>

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
	M\$ 7.0百万ドル (以上の内外貨必要 額25%)	6,200acres ニ、Jerangau Valley (Trengganu) 12,000acres なお、最大のプロジェクトである Jengka Triangle (Pahang) の 150,000acres の 開発実施調査は世銀の援助で行われており、引き 続き資金援助が得られることを希望している。		
18. 土地開発, サバ (Land Develop- ment, Sabah)	M\$ 10.4百万ドル M\$ 8.3百万ドル	マレーシアは一帯に広大な未開発地を有するにもか かわらず、土地なき農民の割合が多いという矛盾 がある。 Sandakan 北東 Labuk River Valley の調査が UNSF の援助で実施された。 オイルパームを主産物とする土地開発の主たるもの は次の通りである。 (1) Bangau Bangau (Labuk River のデ ルタ) 5,000acres, 300家族, 加工工場。 (2) Klias (Klias 半島)	プロジェクト資金	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
	M\$ 5.1百万ドル	3,700acres, 350家族, 加工工場 (3) Suan Lamba (Sandakan 湾の南) 300家族, 加工工場		

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
<p>II 運 輸</p> <p>1. 幹線道路改修, 1 号線, マラヤ (Trunk Road Improvements, Route 1, Malaya)</p>	<p>M\$ 7.5 百万ドル (内外貨 $\frac{1}{3}$ ~ M\$ 2.5 百万ドル)</p> <p>M\$ 1.3 2 百万ドル (内外貨 0.4 4)</p> <p>M\$ 0.6 6 百万ドル (内外貨 0.2 2)</p>	<p>(1) 増巾, 強化 1号線は Johore Bahru からタイ・マラヤ 国境に至る 565miles。 28ヶ所計 158miles について道巾を 20フ ィートから 22フィートに拡大あるいは補強する。 なお最終的には道巾 24フィートを目標としてい る。 実施は公共事業省 (PWD) による。</p> <p>(2) 直線化 イ. Bukit Tengah (Penang) 鉄道交叉地点に 3 径間 (各間 28フィート 8 インチ) の立橋を建設。 PWD により設計済, また最終技術的計画も 可能。 ロ. Sungei Bakap バイパス道路の建設, 1.32miles。</p>	<p>プロジェクト資金</p> <p>要援助</p>	<p>業者により建設予定</p>

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
	M\$1,485 百万ドル (内外貨0.495) 百万ドル M\$1.2375 (外貨0.4125)	ハ. Seremban (Negri Sembilan) に おける鉄道交叉立橋建設。		業者により建設予定
	M\$4.37 百万ドル (内外貨1.46) 百万ドル M\$1.5365 (内外貨0.512)	ニ. Kanching Pass 直線化及び拡大(22フィートから24フィートへ。)		
	M\$2.73 百万ドル	ホ. その他 (3) 橋梁 既存22橋梁の拡大強化。7橋梁新設。その他 小規模橋多数。	プロジェクト資金	PWDによるKedah橋梁を除き、業者による建設
	M\$4 百万ドル	(4) 循環路及びバス停車場。 Perak州14計画。Kedah州1計画。	プロジェクト資金	
		(5) Johore Bahru 高架横断道路	実施調査技術援助。 (借款のために必要)	業者により建設予定
2. 幹線道路改修, 2 号線, マラヤ (Trunk Road	M\$2.24 百万ドル	2号線はPort Swettenham-Kuantan 間 197miles。 (1) 直線化及び増巾	資金	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
Improvements, Route II, Malaya)	M\$ 3 百万ドル M\$ 20 百万ドル	11.2milesの直線道, 道巾16フィートから 22フィートへ拡大。 5小規模橋梁。 (2) Petaling Jaya 高架横断道路 (3) Klang-Port Swettenham間道路及び Karak バイパス	借款のための実施調 査。	直線化PWD実施。 橋, 業者実施。 業者により実施。 UNSFに技術援助 要請中。
3. 幹線道路改修, 3 号線, マラヤ (Trunk Road Improvements, Route III, Malaya)	M\$ 0.97 百万ドル (内外貨0.32) M\$ 1.73 百万ドル	3号線付 Kuantan-Kota Bharu間237 miles (1) 増巾・強化 Trengganu州13ヶ所の強化及び増巾 (16フィートから20フィートへ) (2) 直線化 Trengganu州7ヶ所。Kelantan 州1 ヶ所。	プロジェクト資金	PWD実施。 1橋梁, 業者実施。
4. その他連邦道路改 修, マラヤ (Other Fede-	M\$ 3.2 百万ドル (内外貨1.06)	(1) 増巾・強化 Pahang 州23miles, Penang 7mil- es, Negri Sembilan 10.3miles		

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
Malacca Road Improvements, Malaya)	M\$ 3.30百万ドル (内外貨1.10) M\$ 1.30百万ドル M\$ 7.50百万ドル (内外貨2.52)	Malacca州1.4miles (2) 直線化 Malacca 4.13miles, Johore 0.4 miles (3) 舗装 Gemasp-Temerloh 10.75miles (4) 橋梁改築 36橋梁	プロジェクト資金	
5. クアラルンプール市街道開発, マラヤ (Development of Kuala Lumpur Urban Roads, Malaya)	M\$ 38.51百万ドル (内外貨1.50)	(1) 南北高速道路 工事に既に着手されている。 (2) 幹線道及び集中道 上記2プロジェクトについての調査は殆んど完了し、 現在土地買収交渉中。	プロジェクト資金	PWD及び業者により実施。
6. 西岸道路, サバ (West Coast Road, Sabah)	M\$ 17.5百万ドル (内外貨約半分)	主幹道路基準の砂利道路の建設, 一部アスファルト 化。増巾。 Kudat~Sikuati間16miles について近く	プロジェクト資金	Sabah's Public Works Dep. 及び業者により実施。

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
		<p>入札が行なわれる。</p> <p>Kota Belud の北及び Papar の南の部門の建設は 1966 年着手予定。</p>		
<p>7. クチン〜シブ間主幹道及び支線道路網サラワク (Kuching/Sibu Trunk and Feeder Road Network, Sarawak)</p>	<p>M\$ 38.4 百万ドル (内外貨約 50%)</p>	<p>(1) Kuching〜Sibu 間主幹道路の最終部分 (35 miles) の完成。</p> <p>(2) " 最初の部分 (12 miles) の再建。</p> <p>(3) 主幹道路を oya 河東方 23 miles 延長。</p> <p>(4) 6 支線道の完成及び 3 支線道の調査、建設。全長 115 miles</p> <p>上記プロジェクトの建設は殆んどが開始している。その他 Silantek の炭坑開発が進むと道路改修が必要となってくる。</p>	<p>プロジェクト資金</p>	<p>PWD により実施、橋梁 (M\$ 0.9 百万ドル) の入札が近くある。</p> <p>その他オーストラリアはコロラド計画のもとに橋梁建設援助を行なっている。</p>
<p>8. ミリ〜ピンツル間主幹道路及び支線道路、サラワク</p>	<p>M\$ 45.0 百万ドル (内計画期間中に 36.6 外貨約 $\frac{1}{2}$)</p>	<p>(1) Miri/Bintulu 間主幹道建設 143 miles Miri 近郊を除いては巾 18 フィート砂利道路。</p> <p>(2) 3 支線道路建設、全長 33 miles 農業開発に関連した支線、Miri/Kuala Baram 改修等。</p> <p>(1)(2)とも工事あるいけ実施調査がなされている。</p>	<p>M\$ 36.6 百万ドル (含、主幹道南部の技術的調査 M\$ 0.6 を含む)</p>	<p>SDPW が実施。</p>

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
9. マラヤ鉄道開発 (Development of the Malayan Railway)	百万ドル M\$5.7 (内外5.7) 1.2 (0.9) 1.8 (1.2) 2.1 (1.8) 0.6 計11.4 (9.6)	(1) 代替用ディーゼル機関車 10台 (2) バームオイルタンク車 25台 (3) 東海岸支線46milesの軌道用レイルブレイト、軌道、溶接材。 (4) Kuala Lumpur地区の信号機材。 (5) 鉄道技術学校建設及び機材。	プロジェクト資金。 学校設立技術援助。 開校前スタッフ訓練のため3名。 その後引き続き3～5年間にわたり専門家。	
10. スウェテンナム港の2埠頭追加建設 マラヤ (Construction of two Additional Berths at Port Swettenham, Malaya)	M\$24.45 百万ドル (内外貨950)	Swettenham新港拡張計画6埠頭建設の内2埠頭を建設する。 2埠頭で450,000容積トン、全長1,200フィート、巾200フィート 拡張計画に関する実施調査はロンドンのCoode and Partnersコンサルタント会社により実施された。同社は理立て及び一次計画2埠頭についての設計、入札用資料を用意。又工事の監督を行なう。	埠頭建設のための資金援助。	
11. クチン港拡張、サラワク	M\$11.7 百万ドル	現港から7milesの地点Pendingに800フィートの埠頭を建設。	実施調査技術援助。 資金援助。	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援 助 要 請	備 考
(Kuching Port Expansion, Sarawak)	(内外貨 $\frac{2}{3}$ ~7.8)	(炭坑開発後更に800フィートの埠頭を建設。) 実施調査を行なう段階にある。		
1 2. 民間航空に対する援助, マラヤ (Navigational Aids for Civil Aviation, Malaya)	M\$ 4.65百万ドル	<p>(1) Alor Star及びKuala Lumpur に対するVOR及びDME航空灯台。</p> <p>(2) Penang 滑走路に対する照明及びILS装置 (Instrument Landiny System) 実施調査はオーストラリア民間航空局との共同で、QANTASにより実施された。</p> <p>(3) Kuala Lumpur レーダー監視装置。</p> <p>(4) テスト装置援助</p> <p>従来一部は英国Royal Air Force によりテストされて来たが、VOR及びDME装置は民間航空局によりテストされる。De Havilland Dove機構入に際してテスト装置の購入もともに行なうことが提案されている。その設置はRoyal Malaysian Air Forceの要員により行なわれる。</p>	必要機材購入資金。航空灯台の場合は用地調査、関連業務も含む。	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
<p>III 通 信</p> <p>1. 全国電話自動交換システム, マラヤ (National Automatic Telephone Switching System Malaya)</p>	<p>M\$16.71 百万ドル (内外貨14.36)</p> <p>M\$ 5.17 百万ドル (内外貨3.19)</p>	<p>(1) 主要自動交換機の拡張。 52,400回線の追加, 内約半数はKuala Lumpur 多回路交換地域に設置。その他小規模自動交換機により2,800回線設置。 1964年末ITU専門家により全国電話制度が立案され, 本案の仮予定計画網に対する入札がなされ, 現在検討されている。</p> <p>(2) 手動交換から自動交換へ切替え。 Kuala Trengganu, Telok Anson, Alor Star, Kota Bharu, Kuantan, Batu Pahat 計9,200回線</p>	<p>プロジェクト資金</p>	
<p>2. 電話加入者網, マラヤ (Subscribers' Network, Malaya)</p>	<p>M\$ 28.0 百万ドル</p>	<p>地方回線プラント及び受信機増加。 1970年には加入, 135,815を見込む(現能力80,450, 稼働64,970)</p>	<p>援助必要</p>	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
3. 主要電気通信幹線及び連絡網の拡張, マラヤ (Expansion of the main Telecommunications Trunk and Junctions Network, Malaya)	M\$ 9.0百万ドル (内外貨3.5)	(1) 東海岸マイクロウェーブルート(960チャンネル新設) Kuala Lumpur-Kuantanは入札済み。 Kuantan-Kuala Trengganu-Kota Bharuは国際入札可能を状況。	プロジェクト資金	昭和40年度, わが国派遣の調査団は, 電波伝播試験を実施し, 置局計画を勧告。
	M\$ 2.5百万ドル (内外貨1.7)	(2) 西海岸マイクロウェーブルート(960チャンネル新設, 可能ならば1,800チャンネル) Kuala Lumpur-Singapore 詳細技術調査中。		
	M\$ 2.7百万ドル (2.2)	(3) 西海岸マイクロウェーブルート支線 Kuala Lumpur, Ipoh, Penang, Johore Bharu, Alor Star等12地点から支線を出す。国際入札の段階。		
	M\$ 6.5 (3.5)	(4) Johore Bharu-Kuching 間スカッターシステム, 60チャンネル これによりKuala Lumpur-Kuchingの通信が行われる。		
	M\$ 1.56	(5) VHF及びUHF無線システム		

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
	(0.86) M\$ 0.77 百万ドル (0.7) M\$ 4.2 (3.8)	森林地方の小地域の必要性に応じる。12 - 36チャンネル。 (6) 線線搬送システム 75リンク追加設置、国際入札の段階。 (7) 東西岸マイクロシステム及び無線計画の複式交 換設備。		政府省で実施。
4. ケーブル及び架空 幹線施設、マラヤ (Cable and Overhead Trunk Facil- ities, Malaya)	M\$ 5.2 百万ドル (外貨 3.1 ~ 6.0%)	マイクロウェーブが経済的でない地域に対し設置、 17 ケーブル線、殆んどはプランの段階。	プロジェクト資金	
5. 電信及びテレック ス事業、マラヤ (Telegraph and Telex Services, Malaya)	M\$ 1,361 百万ドル (内外貨 1.2)	需要に応じたテレプリンターの設置、加えて連邦防 衛軍省航空局用。計150 Voice Frequency 電信システム。	テレックス事業自動 化実施調査。 プロジェクト資金	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援 助 要 請	備 考
6. 機動力の必要性, マラヤ (Vehicle Requirements, Malaya)	M\$ 1.0百万ドル (内外貨0.96)	地方で業務に従事するスタッフの交通手段として必要である。 ロリー, トレーラー, ケーブルトレーラー, バス, ジープ, 馬車, 自動三輪車, ランチ及び, Kuala Lumpur の修理工場に保管所を設ける。	設備の小部分を含め プロジェクト資金	
7. 全国自動交換シス テム, サバ (National Automatic Switching System, Sabah)	M\$ 0.55百万ドル (殆んど外貨)	1965年ITUチームによりマレーシア全国交換 システムの一貫として, サバにおける電送, 交換計 画の大枠が調査された。 計画期間中はSandakan において, 2000回 線の拡張が必要。	プロジェクト資金	Sandakan にお ける既存機材は英国 製。
8. ジェッセルトニー サンダカン-タワウ, 主要電気通信幹線プ ロジェクト, サバ (Jesselton- Sandakan- Tawau, Main)	M\$ 3.343百万ドル	1964年ITUミッションにより将来の需要調査 が行われ, 1970年にはJesselton- Sandakan (70回路), Sandakan- Lahad Datu(68)Lahad Datu-Tawau (50)の需要を見込んでいる。 ルートの調査を含め実施調査はコンサルタントとに より実施されており, 1966年末迄に終了の予定。	プロジェクト資金	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
Trunk Tele- communica- tions Proje- ct, Sabah)		ルートはSEACOMケーブルに連結するため CCIR基準であることが必要。また、機材は Kuching-Sibu-Limbang マイクロウェー ブルートとのそれと同基準にする。		
9. 電話加入者網, サ バ (Subscribers Network, Sabah)	M\$0.556 百万ドル 0.627 0.062 0.315 0.035	(1) 加入者装置 約7,000。英国製B. P. O. 706型が基準 とされている。(マレーシア) (2) PABX及びPMBX Private Automatic Branch Exchanges及びPrivate Manual Branch Exchanges はサバにおいて基準 があり、英国製を使用している。 (3) 機器 400台、英国製B. P. O. 706型。 (4) テレプリンター 31台 (5) コインボックス 70台	援助希望	

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
	M\$ 1.95 百万ドル	(6) ケーブル等		
10. HF無線サービス サバ (HF Radio Services, Sabah)	M\$ 0.15 百万ドル M\$ 0.5 (内大部分外貨)	(1) 船舶対岸通信用送信機, 2台(HF) (2) HFサービス 郵政省, 市民航空, 警察用 Jesseltonから20milesの地点に送信機を 設置する。	プロジェクト資金	
11. 全国電話自動交換 システム, サラワク (National Automatic Telephone Switching System, Sarawak)	M\$ 1.026 百万ドル M\$ 1.661 百万ドル	(1) 主要局自動交換拡張 Simanggang, Sarikei, Sibul, Miri, Kuching 完成により98%が自動となる。 (2) 小規模自動交換 4郵便局合同, 交換設備及びビルディング 5小規模交換設備及びビルディング	プロジェクトの実施	
12. 接合無線プロジェ クト, サラワク (Junction Radio Project,	M\$ 4.778 百万ドル	接合ルート回線の増大 ITU 専門家の助言を得てきた。	プロジェクト資金	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援 助 要 請	備 考
Sarawak)				
13. クチン-シブリー ムパンマイクロウェ ーブシステム, サラ ワク (Kuching-Si- bu-Limbang Microwave System, Sarawak)	M\$ 1.4 百万ドル	Sarawak 主要都市間の幹線路, 電話・電信・放 送長期需要充足, 国際線との連結, Brunei 州か ら貸借料取得が計画されている。 実施調査を行なう必要がある。	実施調査資金。 プロジェクト資金。	
14. 電話加入者網, サ ラワク (Subscribers Network, Sarawak)	M\$ 3.268 百万ドル M\$ 1.803	(1) ローカル線プラント Kuching, Sibul, Miriの中心地では地下 配線とする。ケーブルは P. V. C. 型。 (2) 加入者装置 電話器, P A B X 及び P M B X 機, コインボッ クス等。 電話機は英国製 7 0 6 型が基準となっている。	プロジェクト資金。	
15. HF 無線プロジェ	M\$ 1.03 百万ドル	5 新空中線システム...Kuching→Singapore,	プロジェクト資金。	

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
プロジェクト, サラワク (H. F. Radio Project, Sarawak)		Kuching→JesseltonのHF連結改善 2新海岸ステーション通信機 実施調査を必要とする。		
16. 電信事業, サラワク (Telegraph Services, Sarawak)	M\$ 0.5百万ドル	拡大	プロジェクト資金	
17. 情報省機動力隊, マレーシア (Mobile Units for Information Department, Malaysia)	M\$ 0.636百万ドル	地方特に遠隔地情報活動のための交通機関として必要である。 自動車40台, 部品等。	自動車及び必要機材の贈与。	
18. ラジオ及びテレビジョン施設, マラヤ	M\$ 7百万ドル	(1) 海外サービスの拡張, Kajang 250 Kw 送信機及び関連施設。アフリカ, 中	機材費資金。	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
(Equipment for Radio and Television, Malaya)	M\$ 4.3百万ドル M\$ 1.89 M\$ 28.2 (内機材費50%)	東, ヨーロッパ向放送 (2) 国内サービス, Kajang 100 Kw 中波送信機及び関連施設 (現20 Kw) (3) 送信機, Johore Bahru 50 Kw 送信機3台 ラジオマラヤ放送が本土及びRiau, Karimoun 島の受信が改善される。 (4) Pantai Valley 放送センター 同プロジェクトは1964年後半に開始。 TV第2チャンネル設立 既存放送局はKuala Lumpur, Penang, Malacca, Kota Bahru にある。		
19. ラジオ, 放送施設, サバ, サラワク (Equipment for Radio and Broadcast	M\$ 3.11百万ドル	(1) VHF及び関連MF送信機, Sabah VHF及び関連MF送信機, Mount Kinabalu, Jesselton, MFステーション Tenom, Tawau, Sandakan, Lahad Datu, Uat 目下, Kinabalu 及び	プロジェクト機材資金	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援 助 要 請	備 考
ing, Sabah, and Sarawak)	M\$ 1.60百万ドル M\$ 1.10	<p>JesseltonにVHFステーション, Tenom 及びTawauにMFステーションを建設中。</p> <p>既放送局 Jesseltonのみ。</p> <p>(2) 放送局, Limbang, Sarawak 既放送局 Stapok(Kuching)のみ。</p> <p>(3) 追加送信機, Stapok 現10 Kw 送信機を50 Kw にする。 第4ネットワークを設置。</p>		

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
IV 公益事業 1. 地方電化計画, マ ラヤ (Rural Elect- rification Programme Malaya)	M\$ 15百万ドル (内NEB 3.0 政府 12.0 (内外貨60%~ 7.2)	330村の電化(人口166,000人) NEB網の拡張により24時間供給。	ディーゼル発電セッ ト, 関連ケーブル, その他機材贈与。	
2. サバ電化計画 (Sabah Elect- ricity Programme)	M\$22.22 百万ドル (内SEB50%以上 中央政府 4.3 (臨時資金) (内外貨10.4)	西岸側 Jesselton/Tuaran 地域の電力供給力を 1970年までに10.0Mwとする。 現在6.5 Mw, 1966年6月までに3.0 Mwを設 置。 Jesselton発電所の拡張 第1段階 建物 3Mw6.6Kv 2セット等 第2段階 16Mw 2セット, 5Mw 2セット。 架空配線を地下配線としていく。 東岸側	資金M\$10.4百万 ドル (外貨分)	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
		Sandakan 地域 7.5 Mw とする。(現 5.0 Mw)		
3. サラワク電化計画 (Sarawak Electricity Programme)	M\$ 23.2 百万ドル 内 SESCO 約 50% 中央政府 1.0 植民地開発公社 5.0 借款交渉中	SESCO の拡張, 1970 年には 20,976 Kw の需要が見込まれている。(1965 年の約 2 倍)	資金 M\$ 4 百万ドル	
4. クアラルンプール 水道計画 (Kuala Lumpur Water Supply)	調査費 M\$ 0.6 百万 ドル プロジェクト費 74~114 第 1 次計画期間内 11.4	1965 年 Messrs. Binnie & Partners コンサルタンツにより将来の需要が調査され, 1968 年 1 日 1 人当 50~60 gallons の消費が見込まれる。 供給源について 6 つの案が出されている。 経済・技術的実施調査が必要。	設計料 建設資金	
5. ペナン水道計画 (Penang Water Supply)	調査費 M\$ 0.6 百万 ドル 第 1 段階実施 M\$ 57.5 計画期間内 M\$ 20	1965 年 Messrs. Binnie & Partners コンサルタンツにより Penang 島及び Wellesley の一部の総合的水道プロジェクトの調査がなされた。今後 35 年間の需要を満たすため Muda 河から水道をひくことを提案。	調査費 プロジェクト資金。	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援 助 要 請	備 考
		詳細な実施調査が必要。		
6. スンゲイパタニ水 道計画, ケダ (Sungei Pa- tani Water Supply, Kedah)	調査費 M\$ 0.5百万ドル 第1段階 M\$ 6.0百万ドル 第2段階 M\$ 1.31百万ドル 計画期間内 M\$ 6.0百万ドル	1964年実施調査 Muda 河から水道を引く。 第1段階 Pinang Tunggal に浄水施設建設。 第2段階 Sungei Patani にタンクその他を追加。 最新のデータ, コストによる再調査が必要である。	調査費。 プロジェクト資金。	
7. アロールスター水 道計画, ケダ (Alor Star Water Supply, Kedah)	調査及び設計 M\$ 0.5百万ドル プロジェクト費 M\$ 7.0百万ドル 計画期間内 M\$ 4.0百万ドル	1962年Messers. Steen Sehested and Partners (Stockholm) は, VBB (Kuala Lumpur) と協力してPadang Terap河を水源とするAlor Star 給水拡張計 画に関するレポートを作成。 第1段階 完成。経費M\$ 2.8百万ドル。5mgd 供給。 第2段階 見積経費M\$ 9.0百万ドル 近く完成。 第3段階 5mgd追加。実施調査必要。	調査費。 プロジェクト資金。	

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
8. コタバル水道計画 ケランタン (Kota Bharu Water Supply, Kelantan)	調査費 M\$ 0.2百万ドル プロジェクト費 M\$ 1.0百万ドル 内計画期間内 M\$ 5.56百万ドル	1963年Crooks, Mitchell and Peacock of Australiaにより実施調査が行われた。 Kelantan RiverのKampung Kota地点を水源とすることが計画されているが、長期痛紙、給水需要も含めて再調査する必要がある。	調査費 プロジェクト資金。	
9. ケママン水道計画 トレンガヌ (Kemaman Water Supply, Trengganu)	M\$ 2.4百万ドル (内外貨0.7)	1964年Bolton, Hennessey, Cogan and Associates コンサルタント会社により実施調査レポートが作成された。 Pingang Riverを水源とすることを勧告している。	プロジェクト資金。	
10. ドウングン水道計画, トレンガヌ (Dungun Water Supply, Trengganu)	M\$ 2.6百万ドル	1964年Bolton, Hennessey, Cogan and Associates コンサルタント会社により実施調査レポートが作成された。 水源はDungun Riverの南岸Serdang村近郊が推奨されている。 地下水については国連専門家による調査の結果、質量ともに水道には不適當である。	プロジェクトの実施。	

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
1 1. ドウリアン・トゥンガル水道計画, マラッカ (Durian Tunggal Water Supply, Malacca)	調査費 M\$ 1.5百万ドル プロジェクト経費 未定 計画期間内 M\$ 6百万ドル	1963年Messrs, Binnie & PartnersはMalacca River流域の水源地開発調査を実施した。 水源としてMuar Riverがあげられているが、長期的需要の観点に立って再考慮する必要がある。	調査費 プロジェクトの実施。	
1 2. サンダカン水道計画, サバ (Sandakan Water Supply, Sabah)	調査も含め 第1段階 (5mgd) M\$ 3.5百万ドル (内外貨8.5)	1963年Binnie & Partnersコンサルタント会社は実施調査レポートを提出, 以来水質調査ダムサイト, 地形調査等を実施して来た。 Sandakanの近くには必要水量水源はなくGarinono Riverからパイプ輸送する。	プロジェクト資金。	
1 3. クアラルンプール下水道拡張計画 (Extension of Sewerage System, Kuala Lumpur)	M\$ 6.1百万ドル	J. D. & D. M. Watsonコンサルタント会社は1951年クアラルンプールの下水道に関する調査を実施し, それに基づいて, 建設されて来た。 同社は1964年再びPantai処理場の追加浄化能力の必要性の調査を行なった。 計画期間内には小ポンプ1, 沈殿タンク2の追加設	プロジェクト資金。 必要を調査, 計画立案のための技術協力。	

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
		置及び下水道地域拡張が必要。		
14. マラッカ, 下水道 新設計画 (New Sewerage System, Malacca)	M\$ 6.7百万ドル 年間運営維持 M\$0.643百万ドル	J. D. & D. M. Watsonコンサルタント会社は、 今後25年間の需要を見透した総合下水道計画の調査を行なった。	再調査費 プロジェクトの実施。	
15. イポー, 下水道新 設計画 (New Sewerage System, Ipoh)	調査費 M\$ 1.0百万ドル 第1段階 M\$ 17.0百万ドル 内計画期間内 M\$ 11百万ドル	1962年市当局技術部において実施調査が行われた。 計画の第1段階としては、7mgd下水処理プラント、ポンプ場等約12万人用の設備を設置する。	設計再調査 プロジェクト資金。	

プロジェクト名	見積経費	概要				援助要請	備考
V 教育および訓練							
1. 高等学校(技術及び科学)及び中等教育卒業後の学校, マラヤ(Upper Secondary(arts & Science) and Post-Secondary Schools, Malaya)	(1)M\$ 2.3百万ドル (1971~2年に必要とする15,000席追加を含む) (2)M\$ 5.8百万ドル 計 M\$ 2.8.8百万ドル (内外資3.4)	技術及び科学分野の定員増加計画, 1966~70				プロジェクト資金 M\$ 2.8.8百万ドル	
		(1) 高等学校					
		フォームIV	フォームV	追加席数			
		1965	22,790	17,660	-		
		1966	23,713	22,793	6,056		
		1967	24,888	23,717	2,099		
		1968	23,863	24,893	151		
		1969	25,236	23,877	357		
		1970	28,310	25,250	4,447		
						13,110	
		(2) 中等教育卒業後					
		フォームVI 下級	フォームVI 上級	追加席数			
		1965	1,860	1,724	-		
		1966	2,362	1,860	638		
		1967	3,000	2,362	1,140		
		1968	3,693	3,000	1,331		

プロジェクト名	見積経費	概 要			援助要請	備 考																						
			フォームⅥ 下 級	フォームⅥ 上 級			追加席数																					
		1969	4,000	3,693	1,000																							
		1970	4,400	4,000	707																							
					4,816																							
		<p>1校1,000名の割合で28校の新設あるいは同等の拡張が必要である。</p> <p>中等教育卒業後教育についてはクラスを追加設置する、1クラス28名として172クラスの追加設置が必要である。</p> <p>教員追加需要及び補充計画 1966～70</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>需要人</th> <th>マラヤ大学からの補充人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1966</td> <td>339</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>1967</td> <td>222</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>1968</td> <td>202</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>1969</td> <td>218</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>1970</td> <td>283</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,264</td> <td>1,097</td> </tr> </tbody> </table> <p>特に科学、数学、英語を主として、教員206人を</p>					需要人	マラヤ大学からの補充人	1966	339	117	1967	222	200	1968	202	240	1969	218	260	1970	283	280	計	1,264	1,097		
	需要人	マラヤ大学からの補充人																										
1966	339	117																										
1967	222	200																										
1968	202	240																										
1969	218	260																										
1970	283	280																										
計	1,264	1,097																										
					3～4年間教員の補充																							

プロジェクト名	見積経費	概 要			援助要請	備 考	
		海外から募る計画があるが、その採を多数を得ること とは困難で技術援助を望んでいる。					
2. 技術及び職業教育 (高等学校) マラヤ, 1966~ 70 (Technical and Vocational Education (Upper Se- condary) Malaya, 1966~ 70)	(1) M\$12.5百万ドル	技術・職業学校定員増加計画, 1966~70			プロジェクトの実施	カナダ政府援助, M\$9百万ドルにの ぼる機材を中学校工 業技術作業場等に供 与。	
		技 術					
		フォームIV	フォームV	追加席数			
	(2)	1966	1,000	545			739
	M\$34.5百万ドル	1967	1,200	996			651
		1968	3,600	1,195			2,599
	計47.0 (内外貨10.5)	1969	3,600	3,586			2,391
		1970	4,420	3,586			820
		職 業					
		フォームIV	フォームV	追加席数			
	1966	764	351	618			
	1967	1,136	764	785			
	1968	2,704	1,136	1,940			
	1969	6,256	2,704	5,120			
	1970	7,824	6,256	5,120			
				13,583			

プロジェクト	見積経費	概 要	援助要請	備 考																								
		<p>(1) 技術学校 1970年までにフォームⅢ終了者の3%の入学を目標とする。11校の新設が必要。</p> <p>(2) 職業学校 1970年にはフォームⅢ終了者の6%の入学を目標とする。二年コースとし終了後は、5年コースの国立訓練センターの3年に編入出来る。 農業に関しては農業省と協同組合により7校(1校180名)が設立され後に文部省に移管される計画である。合計32校の新設が必要である。</p> <p>(3) 教員 現在員 技術学校……18人 職業学校…… 38人</p>	<p>教員派遣 特に3～4年間、職業学校教員</p>	※																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 889 749 919">需</th> <th data-bbox="749 889 846 919"></th> <th data-bbox="846 889 915 919">1965</th> <th data-bbox="915 889 985 919">1966</th> <th data-bbox="985 889 1054 919">1967</th> <th data-bbox="1054 889 1124 919">1968</th> <th data-bbox="1124 889 1193 919">1969</th> <th data-bbox="1193 889 1251 919">1970</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="703 919 749 974">技 術</td> <td data-bbox="749 919 846 974"></td> <td data-bbox="846 919 915 974">35</td> <td data-bbox="915 919 985 974">70</td> <td data-bbox="985 919 1054 974">94</td> <td data-bbox="1054 919 1124 974">205</td> <td data-bbox="1124 919 1193 974">308</td> <td data-bbox="1193 919 1251 974">344</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 974 749 1029">要 職 業</td> <td data-bbox="749 974 846 1029"></td> <td data-bbox="846 974 915 1029">27</td> <td data-bbox="915 974 985 1029">59</td> <td data-bbox="985 974 1054 1029">97</td> <td data-bbox="1054 974 1124 1029">193</td> <td data-bbox="1124 974 1193 1029">450</td> <td data-bbox="1193 974 1251 1029">706</td> </tr> </tbody> </table>	需		1965	1966	1967	1968	1969	1970	技 術		35	70	94	205	308	344	要 職 業		27	59	97	193	450	706		
需		1965	1966	1967	1968	1969	1970																					
技 術		35	70	94	205	308	344																					
要 職 業		27	59	97	193	450	706																					
		<p>※ 需要をまかきため年間150人養成の商業学校教員養成大学設立をUNSFに要請中。</p>																										

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
3. 技術教育(高等学校後)マラヤ (Technical Education (Post-Secondary), Malaya)	(1) M\$ 4.5百万ドル (内外貨1.89) (但し、職業学校経費除) (2) M\$ 5.3百万ドル (内外貨2.19) 約M\$ 1.5百万ドル	(1) Ipoh(Perak) ○ Polytechnics 設立, 3年コース, 全400人。技術, 職業訓練系のフォーラムV保持者から募る。 学科; 電気, 土木, 化学, 機械, ラジオ, 電子工学, 農業。 ○ 職業学校(Trade Vocational School) 設立。2年コース, 全300人。 (2) Kuala Lumpur Polytechnics 設立, 全600人。 第1段階; 商業, 家政, 航空, 土木, 電気, 機械, ラジオ, 地質調査, 都市, 国土計画, 築建, 機械構造設計 第2段階; 工業化学, 生物・化学・物理実験技術者コース, ゴム技術, 会計 (3) 教員 現在約80人が; 国内外で勉強中, その他私費留学によるスタッフ, 海外からの援助により充当	設備, スタッフ, 教師訓練を含めて Polytechnics の設立。	オーストラリア及び西ドイツに要請中。

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考																																																		
		する。																																																				
4. 教員養成計画 (小学校, 中学校) マラヤ (Teacher Training Programme (Primary and Secondary schools, Malaya)	(1) M\$ 3.87百万ドル	既存; 小学校教員養成大学, 15校 年間卒業者 1,400人 中学校教員養成大学 5校 " 800人 小学校及び中学校教員追加需要, 1966~70 <table border="1" data-bbox="678 550 1217 1023"> <thead> <tr> <th></th> <th>1965</th> <th>1966</th> <th>1967</th> <th>1968</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>42,663</td> <td>-</td> <td>1,437</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>8,906</td> <td>2,618</td> <td>3,345</td> <td>2,537</td> </tr> <tr> <td>高等学校 アカデミック</td> <td>1,472</td> <td>1,353</td> <td>1,020</td> <td>1,309</td> </tr> <tr> <td>高等学校 技 術</td> <td>17</td> <td>44</td> <td>69</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1,969</td> <td>1,970</td> <td>計1966 ~70</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1,300</td> <td>1,400</td> <td>5,637</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2,081</td> <td>1,664</td> <td>12,245</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1,930</td> <td>2,383</td> <td>7,995</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>185</td> <td>213</td> <td>635</td> </tr> </tbody> </table> (1) 小学校教員養成 Alor Starに訓練センターの設立及び既存		1965	1966	1967	1968	小学校	42,663	-	1,437	1,500	中学校	8,906	2,618	3,345	2,537	高等学校 アカデミック	1,472	1,353	1,020	1,309	高等学校 技 術	17	44	69	124			1,969	1,970	計1966 ~70			1,300	1,400	5,637			2,081	1,664	12,245			1,930	2,383	7,995			185	213	635	プロジェクト資金及 び教員養成スタッフ	
	1965	1966	1967	1968																																																		
小学校	42,663	-	1,437	1,500																																																		
中学校	8,906	2,618	3,345	2,537																																																		
高等学校 アカデミック	1,472	1,353	1,020	1,309																																																		
高等学校 技 術	17	44	69	124																																																		
		1,969	1,970	計1966 ~70																																																		
		1,300	1,400	5,637																																																		
		2,081	1,664	12,245																																																		
		1,930	2,383	7,995																																																		
		185	213	635																																																		

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考																												
	(内外貨1.02) (2) M\$23.42 百万ドル	<p>校の拡充改造</p> <p>(2) 中学校教員養成</p> <p>既存中学校30校を利用して地方訓練センターを設置。(実施中)</p> <p>既存大学5校の拡充・改造。</p> <p>技術教員訓練大学(クアラランブール)の拡充。</p> <p>2校新設(Kuala TrengganuのIpoh 他)</p> <p>養成スタッフは大学卒業者から募る他海外からの技術援助を求める。</p> <p>※ 教員養成のための必要スタッフ</p> <table border="1" data-bbox="724 793 1257 1131"> <thead> <tr> <th></th> <th>大学 レベル</th> <th>単科大学 レベル</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定, 評価及び試験</td> <td>17</td> <td>-</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>教育心理学</td> <td>22</td> <td>-</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>児童の成育と開発</td> <td>16</td> <td>22</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>特殊教育</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>比較教育</td> <td>11</td> <td>-</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>教育方法及び教材</td> <td>11</td> <td>-</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>		大学 レベル	単科大学 レベル	計	測定, 評価及び試験	17	-	17	教育心理学	22	-	22	児童の成育と開発	16	22	38	特殊教育	3	-	3	比較教育	11	-	11	教育方法及び教材	11	-	11		
	大学 レベル	単科大学 レベル	計																													
測定, 評価及び試験	17	-	17																													
教育心理学	22	-	22																													
児童の成育と開発	16	22	38																													
特殊教育	3	-	3																													
比較教育	11	-	11																													
教育方法及び教材	11	-	11																													

プロジェクト名	見積経費	概要				援助要請	備考	
			大学 レベル	単科大学 レベル	計			
		数 学	12	6	18			
		工 芸	10	5	15			
		英 語	23	-	23			
		農 業 科 学	5	4	9			
		科 学	14	9	23			
5. 職業訓練教員養成 大学, マラヤ (Trade Teacher Training College, Malaya)	M\$3.57百万ドル (内外貨1.65)	職業学校における教員需要 1966~70				大学の設立。 (含, 設備, スタッ フ等)	UNSFに要請中。	
			アカデミック	技 術	職 業			計
		1965	7	3	17			27
		1966	16	5	38			59
		1967	28	7	62			97
		1968	55	14	124			193
		1969	129	33	288			450
		1970	202	51	453			706
職業訓練教員養成大学新設, クアラルンプール, 3 年コース, 年間150人。 設立までKuantanの既存職業学校を使用し, 1966年開設する。								

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考																		
6. マラヤ大学拡張, マラヤ (University of Malaya Expansion, Malaya)	M\$ 30百万ドル	(1) 各学部定員増 <table border="1"> <tr> <td>教養(含経済, 行政)</td> <td>890</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>農業</td> <td>40</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>工学</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育</td> <td>220</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>医学</td> <td>96</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>科学</td> <td>532</td> <td>1,000</td> </tr> </table> (2) 計算機センター IBM 1130 計算機を追加設置するなど拡充をはかる。	教養(含経済, 行政)	890	1,800	農業	40	60	工学	100		教育	220	300	医学	96	128	科学	532	1,000	プロジェクト資金。 経済・行政学部スタッフ1~2名。	工学部に対し UNS F から約 M\$ 1.0 百万ドル援助を受けている。
教養(含経済, 行政)	890	1,800																				
農業	40	60																				
工学	100																					
教育	220	300																				
医学	96	128																				
科学	532	1,000																				
7. 中等教育, サバ (Secondary Education, Sabah)	M\$ 1.41百万ドル (内外貨3百万ドル)	(1) 1965年 45校 11,000人 1970年 20,000人 (900人増内政府6,000人, 政府補助3,000人) (2) 教員 1970年までに340人の追加需要がある。 Gaya 大学卒業生, 留学生, 中央連邦政府, 外国援助により元足する。	プロジェクト資金。 教師についてはコロンボプラン, 平和部隊その他ヴォランティアの援助。	英国, カナダ, オーストラリアから教師の援助を得ている。																		

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
8. 技術及び職業教育, サバ (Technical and Vocation- al Education, Sabah)	M\$ 2.9百万ドル	<p>サバにおける職業教育計画は、New Zealand 技術教育監督者Dr. B. C. Lee の勧告にもとづき立てられたものである。</p> <p>(1) 職業学校, Jesselton 3年コース, 定員64人。</p> <p>(2) 職業学校, Sandakan 既存専門家職業センター(Specialist Trade Centre)を改名拡充する。定員200人。 土木, 金属, モーター機械学に加えて自動車, 部品・歯車・溶接・木工, 商業, 冷凍, 冷暖房, 電気器具等が計画されている。</p> <p>(3) スタッフ需要 Jesselton 17人, Sandakan 14人。</p>	<p>資金, 技術協力。</p> <p>SandakanについてNew Zealand 方式の援助。職業農業科目のフェローシップ。職業ガイダンス及びカウンセリング事業のための専門家。</p>	<p>JesseltonについてはNew Zealand政府が, スタッフ, 及びスタッフ研究も含めて資金援助を行なう。</p>
9. 中等教育, サラワク (Secondary Education,	(1) M\$ 13.5百万ドル	<p>(1) 中学校 1965年 28,000人, 5年間で12,000人追加。政府及び政府補助分の</p>	<p>プロジェクト資金。 大学卒業教師特に科学, 英語, 数学教師の派遣。</p>	

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
Sarawak)	(2) M\$ 1.2百万ドル (1X2)政府補助 M\$ 4.5百万ドル	(2) 高等学校 3,600人追加。み。 (3) 教員需要 更に、大学卒業生50人、免許取得者360人 が必要。 免許取得者については、教員養成大学2校の卒業生、大学卒業生は留学生その他、平和部隊、コロンボプラン、その他ヴォランティアサービス計画から見込んでいる。		
10. 職業教育, サラワク (Vocational Education, Sarawak)	M\$ 1.0百万ドル	(1) クチンの職業学校の拡充 既存の木工、機械部品、電気科の拡大の他自動車、商業等を新設。 年間各学科40名。3年コース。 (2) 教員 現在 5名(内2名コロンボプラン専門家) 更に、アカデミック7名、技術2名、職業16名、計25名必要。	資金 M\$ 1.0百万ドル 専門家3~4名派遣 カウンターパートの フェロシップ。	オーストラリア政府 の援助機材及び専門家(2名)オーストラリア政府援助を期待。

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
VI 保健および 家族計画				
1. 新総合病院, クア ラルンプール (New General Hospital, Kuala Lumpur)	M\$ 49百万ドル (内28は1965年 までに支出)	外来患者, 救急部, 放射線療法部を含め1,042床 を計画, 及びマラヤ大学医学部教授を補助。 計画は第4段階に分け第1段階の入札終了, 1966.4月着工予定。	第II~IV段階建設費。 医療機械	
2. 新総合病院, セレンバン (New General Hospital, Seremban)	M\$ 18.0百万ドル	外来患者, 救急部を含め720床 Negri Sembilan 州の診察治療センターとし ても機能する。又, 看護訓練, 助産婦訓練も小規模 ながら実施。 1966年2月入札。	機材費。	
3. 地方病院, チャン ガメリントン, ベラク (Rural Hos- pital, Changkat)	M\$ 2.0百万ドル	予防, 診断治療サービスを行なう地方病院の改善。 78床。(複雑な手術, 検査, 特殊治療は行なわな い。) また, 地方保健計画にもとづき設立された保健セン ターの基地としても機能する。	プロジェクト資金贈 与。	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援 助 要 請	備 考
Melintang, Perak)				
4. 小病院新設, サバ (New Cottage Hospitals, Sabah)	M\$ 4.88百万ドル	(1) Semporna 48床 (2) Papar 48床 (3) Beaufort 125床 (4) Ranan 30床 新設。 (1)は入札済。	既存の診療所に代わ って設立し, 既存の ものは保健センターと なる。	プロジェクト資金
5. 精神病院新設 ジェッセルトン (New Mental Hospital, Jesselton)	M\$ 2.8百万ドル (内0.36は使用済)	第1段階 270床	プロジェクト資金 M\$ 2.44百万ドル	

プロジェクト名	見積経費	概 要	援助要請	備 考
VI その他 1. 地質調査用機材 マラヤ (Equipment for Geological Survey, Malaya)	(1) M\$ 0.06百万 ドル (2) 0.056 (3) 0.131 (4) 0.09 (5) 0.034 計0.371	(1) 科学的設備 鉱物学的分析学的業務及び地質調査局の能率向上 のため (2) 踏査用機材 (3) 支部用機材 Seremban, Segamat, Kuantan, Alor Star (4) 研究室用機材 鉱物分析のため特殊X線蛍光設備 (5) 記録保管設備	機材供与 地質調査局地方スタ ップの訓練のための フェローシップ	フェローシップは コロンボプランに よりカナダ政府が実 施。
2. 統計局への技術援 助 (Technical Assistance for the		局の拡充のための長期計画を樹立。特に国家会計勘 定、製造、建設、農業、労働、人口統計、物価、収 支バランス、サンプル調査、運輸、ボルネオ州につ いての統計分野の拡張をはかる。 そのため		コロンボプラン、国 連からの専門家の援 助を得ている。 国際機関による Rueff

プロジェクト名	見積経費	概要	援助要請	備考
Department of Statistics		<p>(1) 企画, 新統計指導のための統計の多方面の専門家</p> <p>(2) 地方スタッフは現職教育及び海外における大学院教育を必要としており以下の技術援助を希望</p> <p>(i) 一般統計専門家, 特にサバ, サラワクにおける業務のため</p> <p>(ii) 上記分野における専門家</p> <p>(iii) 経済, 統計, 数学の学位をもち2~3年の経験を有する若手統計家, 地方スタッフの海外留学中代って業務を行なり。</p> <p>(iv) 専門, 中級レベルの地方職員のためのフェロシップ及び奨学金</p>		Mission 等により統計の改善の必要性が強調されている。

